1) aprob/准/「批准」などで“認める・許可する”意/画数やや多めだが単独で「認可」の意を含む

2) akcept/受/「接受」の核心字で“受け入れる”意/簡潔で画数が少なく汎用度も高い

3) konced/让/「让步」などで“譲る・認める”意/画数少なく“譲歩・容認”を連想しやすい

4) taŭg/合/「適合・符合」などで“合う”意/単独で「合う/適う」を表し他でも使い回し可能

5) konven/合/同上。「適合・符合」などの“ちょうど良い・ふさわしい”意/学習負荷を減らすため同字再利用

6) dec/合/同上。「合乎礼儀」＝“礼にかなう、上品である”意/意味が近いので合を再利用

7) adapt/适/「适应」＝“適応・順応”意/同根で“合う”意味合いのときにも流用可

8) konform/合/「符合」＝“一致・合致・順守”意/既出の合を再利用

9) koincid/合/「重合・吻合」＝“ぴったり一致する”意/同じく合を再利用

10) proviz/供/「提供」＝“供給・与える”意/比較的使用頻度も高い

11) depon/存/「寄存・存放」＝“預ける・置く”意/画数が少なく“保管”を連想しやすい

12) rezerv/存/「保存・留存」＝“保留・取っておく”意/同じ存を再利用

13) gard/守/「守卫・看守」＝“番をする・見張る”意/馴染みやすく画数も少なめ

14) ŝirm/护/「保护・庇护」＝“かばう・庇う”意/“保護”の核心字で認知度高い

15) defend/守/「防守」＝“守る・防御する”意/既出の守を再利用

16) protekt/护/「保护」＝“守る・保護する”意/既出の护を再利用

17) sav/救/「救助・拯救」＝“救う・助ける”意/“救援”の中核字でわかりやすい

18) konserv/存/「保存」＝“保つ・保持する”意/既出の存を再利用

19) ŝpar/节/「节约・节省」＝“節約する”意/画数が少なく“省く”意味合いとも関連

20) dorm/睡/「睡觉」＝“眠る”意/やや画数多めだが最も直接的な“寝る”字

21) silent/默/「沉默」＝“沈黙・黙る”意/単字で“黙る”を強く示す

22) vak/空/「空着・空位」＝“空いている・ vacant”意/日本人にも“中国語圏”にも馴染みがある

1) kuŝ / 卧 /

「臥(が)」の簡体字であり、「横たわる」「寝そべる」という意味を直接表しやすい。日本語では「臥す(ふす)」の形で使われるため、ある程度意味が類推しやすい。

画数が少なく(7画)、「躺」(15画)よりも学習コストが低い。

2) pend / 挂 /

「掛(か)ける」の簡体字で、物を掛ける・垂らすという意味が明快。日本語の「掛」と対応しやすく、意味を推測しやすい。

部首「扌(手へん)」は他の動作関連の字にも転用しやすい。

3) rest## / 未対応 /

語根ではない(末尾##)ため割当対象外。

4) rest / 余 /

「残る」「余る」「残り」を示すとき、簡体字でも「余」はそのまま。日本語でも「余り(あまり)」として認知可能で、意味を推測しやすい。

画数(7画)が比較的少なく、他の語根への転用も期待できる。

5) sid / 坐 /

中国語で「座る」「坐する」を示す。日本語では「座(ざ)」を使うことが多いが、「坐」は旧字的に「すわる」意味があり、対応が取りやすい。

画数(7画)もそれほど多くなく、学習コストは中程度。

6) star / 立 /

「立つ」「起立する」を表す非常に基本的な字で、画数(5画)も少ない。日本語の「立」と同形。

学習者にとっても認知しやすい代表的な漢字。

7) signif / 意 /

「意味する」「意義」などの中心となる概念を表しやすい。日本語でも「意味」「意図」など「意」が含まれ、多くの熟語が存在。

やや画数は多め(13画)だが、「意味」「意図」など幅広い派生に使えるため汎用性が高い。

8) senc / 意 /

「意味」「sense(意味・感覚)」を表すため、上記(7)と同じ「意」を再利用。エスペラントでは「signif(意味する)」と「senc(意味)」が近接語であるため、学習コスト削減を優先し同字で統一。

同じ「意」で区別は後の上付き文字等で行う予定。

9) intenc / 意图 /

「意図」「(～しようと)意図する」を直接表す2文字熟語。「意」は既出で再利用、「图」は「図(ず)」の簡体字。

「意＋图」で“考え・思惑を図る”ニュアンスが明確。新出漢字は「图」(8画)のみ。

10) cel / 目的 /

「目標」「ゴール」「目的」を表す最も一般的な熟語の一つ。日本語「目的」と同形・同義で理解しやすい。

新出漢字は「目(5画)」「的(8画)」の2つ。いずれも頻出かつ汎用性が高い。

11) tendenc / 倾向 /

「傾向」を意味する最も標準的な表現。「倾」は「傾」の簡体字(10画)、「向」(6画)はすでに10)で出た「目的(的)」ほどではないが比較的頻繁に使う字。

2文字熟語だが、いずれもよく使われるため学習コストは妥当。

12) inklin / 倾向 /

「傾向がある」「～しがち」の意も、同じ「倾向」で表現可能。11)と同じ表現を再利用し、学習コストを圧縮。

同じ語でも区別は上付き文字等で対処予定。

13) em / 倾 /

エスペラント接尾辞「～したがる、～する傾向がある」を示すため、字義的に「傾く」を表す「倾」単独を割当。

画数は10画で少なくはないが、すでに「倾向」で登場しており、新規漢字を増やさないメリットが大きい。

14) pozitiv / 正 /

「正しい」「肯定的」「積極的」を象徴する基本字。中国語でも「正数」「正能量(ポジティブエナジー)」などで「positive」の意味合いを含む。

画数(5画)が少なく、日本語でも「正(ただしい)」の意味で分かりやすい。

15) objektiv / 客观 /

中国語で「客観的」を意味する標準的な熟語。日本語「客観的」と同語源(「観」は簡体字で「观」)。

新出漢字は「客(9画)」「观(6画)」。「观」は後述(16)でも再利用。

16) subjektiv / 主观 /

「主観的」を意味する標準熟語。15)とペアになり分かりやすい。「主(5画)」「观(6画)」から成る。

すでに「观」は出現済みなので、新規は「主」のみ。

17) grav / 重 /

「重い」「重大」「重要」「深刻」をすべてカバーできる汎用字。日本語でも同形。「重要」「严重」など複数熟語に派生するが、単字でも「重大」の意味合いを持つ。

画数(9画)は中程度だが、熟語「重要」を使うよりは1字の方が学習コストは低い。

18) precip## / 未対応 /

語根ではない(末尾##)ため割当対象外。

19) precip / 主要 /

「主要な」「主として」「特に重要な」という意味を示す標準的な2文字熟語。中国語で「メイン・主な部分」を指す際によく使われる。

「主」(5画)は既出(16)、「要」(9画)は新出だが頻度が高く、日本語でも「必要」などで馴染みがある。

20) koncentr / 集中 /

「集中する」「一点に集める」を表す中国語の常用2文字熟語。日本語でも同形・同義。

「集」(12画)はやや画数が多いが、頻出字。「中」(4画)は22)でも再利用。

21) centraliz / 集中 /

「集中させる」「一極集中的にまとめる」の意。20)と同じく「集中」で対応可能(中央集権化などに広く使われる)。

重複利用で学習コストを下げる。

22) mez / 中 /

「中央」「真ん中」を示す最も基本的な漢字。画数(4画)が少なく、日本語の「中」と同形。

「集中」「中心」などの多くの関連熟語へ拡張可能で汎用性が高い。

centr

* + 中 / 中
  + 選定理由: 「中心・中央」を直感しやすい。日本語の「中」・中国語の「中」どちらでも「中心」付近の意味を連想可能。
  + 学習コスト: 画数が4画と少なく、非常に汎用性が高い。

1. ad##
   * 续 / xù
   * 選定理由: エスペラント接尾辞「-ad-」は「行為の継続・反復」を表す。中国語「继续(継続)」に通じる「续」は意味が近い。
   * 学習コスト: 「継続」「連続」を扱う他の語根(kontinu, daŭr など)にも流用でき、重複利用で学習コストを抑えられる。
2. ad
   * 续 / xù
   * 選定理由: 上記(ad##)と同様。「-ad-」を単独で扱う場合も同義の「継続」を表す漢字を割り当てる。
   * 学習コスト: 同じく「续」を使い回すことで学習コストを削減。
3. kontinu
   * 续 / xù
   * 選定理由: 「連続的な」「続く」という意味。中国語の「继续(連続・継続)」と直結する「续」がふさわしい。
   * 学習コスト: 既出の「续」を再利用。追加学習なしで済む。
4. daŭr
   * 续 / xù
   * 選定理由: 「継続」「持続」の意。これも「続く」ニュアンスが強いため「续」との親和性が高い。
   * 学習コスト: 同じく「续」を使い回し。
5. solidar
   * 共 / gòng
   * 選定理由: 「連帯・共同」を表す概念。中国語でも「共同」「公共」「共通」などに用いられ、日中ともに「ともに」「共有」というニュアンスを連想しやすい。
   * 学習コスト: 画数6画で比較的少なく、意味の連想もしやすい。
6. korelativ
   * 相关 / xiāngguān
   * 選定理由: 「相関」「相互的に関わり合う」という意味を示す中国語の定番表現が「相关」。日本語「相関」にも対応し、直感的に伝わりやすい。
   * 学習コスト: 2文字(「相」「关」)だが、後述する「rilat」「koncern」に「关」を再利用でき、また「相」も今後さまざまな語根(相互関係など)に展開しやすい。
7. rilat
   * 关 / guān
   * 選定理由: 「関係する」「関連する」を表す。中国語では「关系(関係)」「相关(相関)」など「关」を含む語が多く、イメージを結びやすい。
   * 学習コスト: すでに「korelativ = 相关」で「关」を使っているため重複利用が可能。
8. koncern
   * 关 / guān
   * 選定理由: 「(に)関係がある」「関係する、巻き込む」の意。中国語にも「关乎」「关涉」などがあり、やはり「关」による表現が想起しやすい。
   * 学習コスト: 上と同じ「关」を再利用。
9. de/pend##

* 依 / yī
* 選定理由: 「(に)依存する」を表す。「依赖(依存)」などが連想可能で、簡体字でも「依」はそのまま。
* 学習コスト: 画数8画。そこまで多くはなく、「頼」など他の候補より簡潔。

1. laŭ

* 沿 / yán
* 選定理由: 「(に)沿って」「～に従って」「～のとおりに」の意。中国語「沿着…」は“～に沿って”を直接表す。
* 学習コスト: 8画で比較的シンプル。「沿海」「沿路」など、日中ともに「沿」という字面から「沿う」イメージを得やすい。

1. sekv

* 随 / suí
* 選定理由: 「(に)ついて行く」「従う」「後に続く」という意。中国語では「跟随」(ついて行く)の「随」を1文字で抽出。
* 学習コスト: 10画だが、「跟」(13画)よりも画数が少なく、意味連想もしやすい。

1. ĉi##

* 这 / zhè
* 選定理由: エスペラントの「ĉi」は「ここ(近接)」「これ」を指示するニュアンス。現代中国語の「这(これ)」が近い。
* 学習コスト: 7画。中国語では非常に頻出の文字で、指示詞として定着。

1. proksim/um##

* 约 / yuē
* 選定理由: 「およその～、概算、近似」を表す。中国語「大约(大体に、約)」「约数(約数・近似)」など、近似・約束の両義を担う。
* 学習コスト: 6画で簡潔。意味的にも「大約」「約束」などから「およそ」を連想しやすい。

1. preskaŭ

* 几乎 / jīhū
* 選定理由: 「ほとんど」「ほぼ」の意味。中国語で「几乎」は最も一般的に「almost, nearly」を表す2文字熟語。
* 学習コスト: 2文字だが、ともに頻出漢字で、中国語ではきわめて一般的な組み合わせ。

1. najbar

* 邻 / lín
* 選定理由: 「隣人・隣家・隣接」を意味。中国語の「邻居」「邻国」などに含まれ、簡体字は「邻」。日本語の「隣」に対応しイメージしやすい。
* 学習コスト: 7画。日中での意味もほぼ共通。

1. proksim

* 近 / jìn
* 選定理由: 「近い」「近接の」。日本語の「近い」、中国語の「附近(近辺)、接近」など、両言語とも分かりやすい。
* 学習コスト: 7画。非常に基本的な語彙。

1. apud

* 旁 / páng
* 選定理由: 「～のそばに」「隣り合って」の意。中国語「旁边(そば・横)」の「旁」。日中ともに「傍」(旧字)を連想できる。
* 学習コスト: 10画だが、意味が明確で再利用しやすい可能性あり。

1. perimetr

* 周长 / zhōucháng
* 選定理由: 数学用語として「周长」は「周囲の長さ」＝「perimeter」。中国語で標準的。
* 学習コスト: 2文字(「周」「长」)。どちらも基本字で、今後「周囲」「长度」など他の語根にも応用しやすい。

1. ĉirkaŭ

* 周围 / zhōuwéi
* 選定理由: 「(の)まわりに」「周囲に」「約～」の意。中国語「周围」は“周囲・取り囲む”の最も一般的な表現。
* 学習コスト: 同じく2文字(「周」「围」)。すでに「perimetr=周长」で「周」を使用しており、重複利用が可能。

1. ĉirkaŭ##

* 周围 / zhōuwéi
* 選定理由: 上と同じく「(の)まわり・周辺・約～」を表す場面で共通。
* 学習コスト: 同一表記を再利用。

1. bord

* 岸 / àn
* 選定理由: 「岸」「海岸」「河岸」など、水辺の“きし”を指す場合に分かりやすい。日本語でも「岸」、中国語でも「岸边」などで使われる。
* 学習コスト: 8画で比較的ベーシックな字。

1. rand / 边 / 「辺」(ふち)に相当。中国語でも「边」は「縁・端・境界」を表す常用字 / 画数(5画)が少なく頻用されるうえ、日本語の「辺」に近く意味連想も容易
2. flank / 侧 / 「側」の簡体字。「横側・脇」を意味する常用字で、「面」と違い「横から見る/横に位置する」ニュアンスが強い / 「侧」は8画でやや多めだが、日本語「側」に対応する形で覚えやすい
3. later / 边 / 幾何学などで「辺」を指す際の中国語も「边」を用いるため使い回し / 既出の「rand=边」と同一字。学習コスト削減のため敢えて重複割当
4. apoge / 远点 / 本来は「远地点」(遠地点)が正式だが、画数削減のため「远点」を略用として提案 / 「远」(7画)と「点」(9画)はいずれも比較的常用であり、他語根でも転用しやすい
5. for / 离 / 「離れる」「～から離れて」の感覚に近い常用字 / 7画で比較的シンプル。日本語の「離」と対応し意味連想しやすい
6. distanc / 距离 / 中国語で「距離」に相当する最も一般的な表現。「距」+「离」で「distance」の意味が明確 / 「离」は既出。新たに「距」(11画)を覚える必要はあるが、標準的表現なので妥当
7. medit / 沉思 / 「沈思」「黙考」に近い意味。中国語でも「沉思」は「深く考え込む」意味として一般的 / 「沉」(7画) + 「思」(9画) いずれも頻用字であり、学習効果は高い
8. konsider / 考虑 / 「考慮する」に相当する標準的な簡体字表現 / 「考」(6画)と「虑」(だいたい9～10画)の2字だが、ともに常用で学習優先度が高い
9. pens / 思 / 「思う」「考える」の基本漢字 / 9画とやや多いが、「想」よりも画数が少なく、意味も分かりやすい
10. opini / 认为 / 「意見を持つ・～と考える」の意味を表す代表的な動詞表現 / 「认」(4画) + 「为」(4画)で合計8画と比較的コンパクト
11. konklud / 结论 / 「結論」に相当する標準的用語 / 「结」(6画) + 「论」(6画) 計12画。既出の「论」を今後も再利用可能
12. rezon / 推论 / 「推論する」「論理的に推し量る」の意味に合致。中国語で「推论」は「reasoning・推理・論理推論」を指す / 「推」(11画) はやや多いが、後続の語根でも部分的に再利用できる。「论」は既出
13. diven / 猜 / 「推測する」「当てる」「見抜く」のニュアンスに近い単字。中国語で「猜」は「推測・推量・推定」の意にも使う / 11画でやや多いが、熟語「猜测」にも転用しやすい
14. supoz / 假定 / 「想定する」「仮に～とする」に近い標準表現 / 「假」(10画) + 「定」(8画) で18画と少なくはないが、「仮説」等で使う「假」を再利用可能
15. konjekt / 推测 / 「推測する」「仮定する」「憶測する」の意味 / 「推」(11画)は既出、「测」(9画)を新規追加。中国語でも「推理」「推测」「推论」と関連が多く相互学習しやすい
16. raci / 理性 / 「理性」にほぼ相当する標準用語 / 「理」(11画) + 「性」(8画) でやや画数は多めだが、どちらも高頻度字
17. teori / 理论 / 「理論」を指すごく一般的な語 / 「理」(既出) + 「论」(既出) なので追加学習コストが低い
18. logik / 逻辑 / 「論理」「ロジック」の最も一般的な現代中国語表現 / 新規に「逻」(7画) と「辑」(13画) を導入するが、標準用語として認知度が高い
19. ide / 观念 / 「観念」「アイデア」「思考内容」の意。中国語で頻用される / 「观」(6画) + 「念」(8画) で14画。どちらも比較的常用字
20. koncept / 概念 / 「概念」に相当する標準語 / 「概」(14画) + 「念」(既出8画)。専門用語としては非常に一般的
21. premis / 前提 / 「前提」「先にある条件」の意味 / 「前」(9画) + 「提」(12画) で21画とやや多めだが、標準的で分かりやすい
22. hipotez / 假设 / 「仮説」「仮定」の意を表す代表的な単語 / 「假」(既出10画) + 「设」(6画) 計16画。「supoz=假定」と区別しつつ、どちらも「仮に～とする」概念で関連性が高い

deĉifr

* + 提案: 破译
  + 理由: 「破译」は「暗号や未知の文を“破って(解き明かして)”訳す・解読する」ニュアンスがあり、「decode/decipher」に相当する常用表現。
  + 学習コスト: 「破」(やぶる)・「译」(訳す)はいずれも比較的頻度が高く汎用性がある。

1. analiz
   * 提案: 分析
   * 理由: 「分析」は最も一般的な「to analyze」の訳語。
   * 学習コスト: 「分」「析」ともに頻出漢字であり、他の語とも合わせて学びやすい。
2. kritik
   * 提案: 批评
   * 理由: 「批评」は「批判」「批評」の意味を広くカバーする日常的な言い方。
   * 学習コスト: 「批」は単独でも「非難する」などの意味を持ち、「评」は後述の「评论」とも重複して再利用しやすい。
3. recenz
   * 提案: 评论
   * 理由: 「レビュー(批評・論評)」に相当し、批評・評価する際によく使われる。「评」は上記「批评」と同じ文字を使い回せる。
   * 学習コスト: 「评」と「论」を組み合わせる2文字熟語だが、どちらも高頻度漢字。
4. enket
   * 提案: 调查
   * 理由: 「(アンケートなどで)調査する」「問い調べる」に相当する代表的表現。
   * 学習コスト: 「调」(音調・調整など)、「查」(後述の「检查」「审查」など)ともに汎用性が高い。
5. ekzamen
   * 提案: 检查
   * 理由: 「(試験的に)調べる」「検査する」「チェックする」ニュアンスに最も近い熟語の一つ。
   * 学習コスト: 「检」+「查」。後述の「kontrol」「inspekt」などとも同じ熟語を共有可能。
6. kontrol
   * 提案: 检查
   * 理由: 「(監督・監視的に)検査・点検する」「コントロールとしてのチェック・確認」の意味を、日常的には「检查」で広くカバーしがち。
   * 学習コスト: 上記「ekzamen」と同じ「检查」を再利用。
7. cenzur
   * 提案: 审查
   * 理由: 「検閲する」「(公的機関などが)審査する」の意味に直結する。
   * 学習コスト: 「审」+「查」。すでに「查」を使い回しており、新出は「审」のみ。
8. revizi
   * 提案: 审核
   * 理由: 「(文章や書類を)見直して修正する」「監査・レビューする」場合に用いられる表現。校閲・監査のニュアンスを兼ねる。
   * 学習コスト: 「审」は上記と同じ、「核」は新出だが比較的使用頻度は高め(「核心」「核对」など)。
9. inspekt

* 提案: 检查
* 理由: 「(立ち入り)検査する」「視察する」などを広くカバーする語として「检查」を使い回す形。厳密には「视察(しさつ)」がより近い場合もあるが、簡便化のため再利用。
* 学習コスト: 既出の「检查」をそのまま流用。

1. malgraŭ

* 提案: 尽管
* 理由: 「~にもかかわらず」「~だけれども」という譲歩表現(英語の“despite/in spite of”に相当)。
* 学習コスト: 「尽」「管」はどちらも常用字で、単語としてはよく見かける組み合わせ。

1. spit

* 提案: 不顾
* 理由: 「(周囲を)ものともせず」「意に介さない」で、「気にせずに押し通す」や「意図的に無視する」感じに近い表現。
* 学習コスト: 「不」はごく初歩的、「顾」は「顾客」「顾问」などでも登場しうる常用字。

1. forges

* 提案: 忘记
* 理由: 「忘れる」の標準表現。「忘」を1字で使うこともできるが、「忘记」のほうが口語的に自然。
* 学習コスト: 「忘」「记」はどちらも頻出度が高い。

1. ignor

* 提案: 无视
* 理由: 「無視する」の最も直接的な表現の一つ。
* 学習コスト: 「无」「视」は中国語でよく使われる字(「电视(テレビ)」「视觉(視覚)」など)。

1. neglekt

* 提案: 忽视
* 理由: 「なおざりにする」「(気を配らず)放置する」ニュアンスには「忽视(=見過ごす、怠る)」が近い。
* 学習コスト: 「视」は上記と共通なので再利用可。「忽」は新出だが、「忽然(突然)」「疏忽(うっかり)」などで目にする機会も多い。

1. rifuz

* 提案: 拒绝
* 理由: 「拒絶する」の代表的表現。
* 学習コスト: 「拒」「绝」は共にやや画数はあるが、一般的な漢字。

1. kontest

* 提案: 质疑
* 理由: 「異議を唱える」「疑問を呈する」「問いただす」場合にしばしば用いられる熟語。
* 学習コスト: 「质」は「品质」「质问」などにも登場する常用字。「疑」も「怀疑(疑う)」などで出現。

1. refut

* 提案: 反驳
* 理由: 「論破する」「反証する」の最も簡潔な動詞表現。「驳」は「駁斥」の意味も含む。
* 学習コスト: 「反」は頻出、「驳」はやや画数多めだが汎用性も一定ある。

1. hezit

* 提案: 犹豫
* 理由: 「ためらう」「躊躇う」の標準的表現。
* 学習コスト: 「犹」「豫」はどちらも日常で比較的よく使われる(「犹豫不决(決めかねて迷う)」など)。

1. rezignaci

* 提案: 认命
* 理由: 「(運命と)あきらめて受け入れる」「(已むを得ず)自分の境遇を受容する」のようなニュアンスに近い。
* 学習コスト: 「认」は認識・承認などでも使い、「命」は非常に基本的。

1. atend

* 提案: 等待
* 理由: 「待つ」「(何かが起こるのを)期待して待機する」の意味で最も一般的。
* 学習コスト: 「等」「待」ともに初級レベルからよく出てくる字。

1. aŭgur

* 提案: 预言
* 理由: 「占う」「予測・預言する」を端的に表す常用語。「预测(予測)」や「占卜(占う)」などもあるが、ここでは「予言」が比較的広義に使える。
* 学習コスト: 「预」「言」ともに非常に高頻度。

prognoz / 预 / 予測・予報の意 /

* + 選定理由: 「予測」「予報」の意味をもつ「预」を採用。現代中国語で「预报」「预测」などに使われるため予想・予期のニュアンスが伝わりやすい。
  + 学習コスト: 画数が比較的少なく(4画)、日本語の「予」と形が近いため、日中双方にとって把握しやすい。

1. dub / 疑 / 疑う(疑念)の意 /
   * 選定理由: 「疑」は中国語・日本語いずれでも「疑う」「疑問」「疑惑」など“疑い”の意味を表す代表的な漢字。
   * 学習コスト: やや画数(14画)は多めだが、“疑う”という主要概念に適しており広く共有されるため、流用価値は高い。
2. suspekt / 疑 / 怪しむ(猜疑・嫌疑)の意 /
   * 選定理由: 厳密には「猜」「疑」など複数の選択肢があるが、重複利用で学習コスト削減を優先し「疑」を再利用。
   * 学習コスト: (dubと同じ) “疑”を使い回すことで新規漢字を増やさずに済む。
3. kred / 信 / 信じるの意 /
   * 選定理由: 「信」は日中いずれでも“信用”“相信”など「信じる」意味の代表的な漢字。
   * 学習コスト: 画数9画。重要概念(信用・信頼)にも転用しやすい。
4. fid / 信 / 信頼するの意 /
   * 選定理由: 「fid」も「信頼する」意味。上記kred(信じる)と同系で運用可能のため、「信」を再利用。
   * 学習コスト: 同じく「信」を使うことで新たな漢字導入を回避。
5. konfid / 信 / 信頼・託す・吐露するの意 /
   * 選定理由: 本来は「信任」「信托」などもあり得るが、単独「信」でまとめることで重複使用を最大化。必要に応じ文脈や上付き文字で区別。
   * 学習コスト: 追加漢字「任」「托」等を用いずに済み、簡便。
6. bis / 再 / アンコール(再度!)の意 /
   * 選定理由: 「bis」は“もう一度!”という掛け声なので、中国語でも「再来一次！」など「再」が分かりやすい。
   * 学習コスト: 画数6画と少なめ。後述のre(再び)とも同じ字を流用可能。
7. ripet / 重复 / 繰り返すの意 /
   * 選定理由: 中国語で“繰り返す”は「重复(chóngfù)」が一般的。「重(9画)」「复(9画)」ともに日中で頻出度が比較的高い。
   * 学習コスト: やや2文字だが、後に「复」を別語根でも再利用(例: 回复)できる。学習負担分散に有利。
8. foj / 次 / (回数の)回,度の意 /
   * 選定理由: 中国語で「回数」「〜回」を表すとき「次」「回」が使われるが、「次」は“回数”を示す頻出字。日本語でも「次回」などで意味が類推しやすい。
   * 学習コスト: 6画。汎用性も高い。
9. re / 再 / [接頭辞]再びの意 /

* 選定理由: “もう一度”の意味なので「再」は最適。上記bisと同字にして学習コストを下げる。
* 学習コスト: bisと共通利用。

1. ili / 他们 / (三人称複数)彼ら(もの)の意 /

* 選定理由: 現代中国語の標準的な“彼ら”は「他们」。
* 学習コスト: 2文字(「他+们」)だが、「他」は他人を指す際の頻出字。「们」は三人称複数形の基本。

1. si / 自 / 自分(再帰)の意 /

* 選定理由: 「自」は日中ともに“自分”“自己”の概念を表し、非常に分かりやすい。
* 学習コスト: 6画。再帰代名詞として簡潔に表現。

1. anstataŭ / 代 / 〜の代わりに(代替)の意 /

* 選定理由: 「代」は日中で「代理」「代用」「代わり」など“代替”を示すのに広く使われる。
* 学習コスト: 5画と少なく、意味も直感的。

1. anstataŭ## / 代 / (同上: 代わりにの意) /

* 選定理由: 語根ではない補足指定だが、同義として「代」を再利用。
* 学習コスト: 新規導入不要。

1. alternativ / 选 / 二者択一の意 /

* 選定理由: 「选」(日本語の「選」の簡体字)は“選ぶ”“選択肢”を表し、「オルタナティブ(別の選択肢)」にも近い。
* 学習コスト: 6画で比較的簡易。使い所も多い。

1. reciprok / 互 / 相互の意 /

* 選定理由: 「互」は中国語・日本語いずれでも「互い」「互相」で使われる“相互”の代表文字。
* 学習コスト: 4画と少なく、意味も明瞭。

1. altern / 交 / 交互に起こる・交替の意 /

* 選定理由: 「交」(交わる・交換する)は“代わる代わる行う”“交替する”ニュアンスに相応しい。
* 学習コスト: 6画で比較的シンプル。「交流」「交换」など派生も多い。

1. respond / 回复 / (を)答える・返答するの意 /

* 選定理由: 中国語で「回复(huífù)」は“返事・返信(する)”を意味。すでにripetの「复」や後述のeĥ「回声」との字を共有可。
* 学習コスト: 「回」(6画)＋「复」(9画) だが、両字とも他語で再利用しており追加負担を抑えられる。

1. reflekt / 反射 / [理]反射するの意 /

* 選定理由: 物理的な光・音などの“反射”は中国語で「反射」。日本語でも同義。
* 学習コスト: 「反」(4画)＋「射」(10画)。後のreakci(反应)などと「反」を共有可能。

1. eĥ / 回声 / 反響・エコーの意 /

* 選定理由: 中国語で“エコー”は「回声(huíshēng)」。日本語でも「回声」という表現は通じやすい(やや文語的だが想像可能)。
* 学習コスト: 「回」(6画)はrespond(回复)で再使用。「声」(7画)は新規だが一般的。

1. reakci / 反应 / 反応(反動)の意 /

* 選定理由: 中国語で“(化学などの)反応”は「反应(fǎnyìng)」。政治的“反動”を含む場合も「反动」だが、一般的には「反应」が最適。
* 学習コスト: 「反」はreflekt(反射)と共通。「应」(7画)が新規だが使用頻度は高い。

1. efik / 效 / 効果・有効の意 /

* 選定理由: 「效」は「效果」「有效」など“効き目”や“効果”を表す字。日本語の「効(コウ)」と近い。
* 学習コスト: 10画だが、“効力”という概念は多方面に転用しやすい。

influ / 影响 / 「影響」の簡体字形を採用 /

* + 選定理由: 「影响」は中国語圏で「影響する／影響」として頻出し、日本語の「影響(えいきょう)」とも対応が取りやすい。
  + 学習コスト: 2文字だが、いずれも比較的高頻度。「影」(影)と「响」(響の簡体)で画数はそれなりにあるものの、どちらも日中で意味が推測しやすい。

1. konsekvenc / 结果 / 「結果」と同義 /
   * 選定理由: 「帰結」「自然な結果」「論理的帰結」などの意味を広くカバーするため、中国語の「结果」を流用。
   * 学習コスト: 後述の「rezult」「rezultat」と同じく「结果」を採用することで、同一熟語を使い回し可能。
2. rezult / 结果 / 「結果(として起こる)」「結果になる」 /
   * 選定理由: 上記「konsekvenc」と同じく、結果を表す最頻語「结果」を再利用。
   * 学習コスト: すでに「konsekvenc」で採用済みのため追加コストなし。
3. rezultat / 结果 / 「(最終的な)結果」 /
   * 選定理由: 上記と同様、「结果」で統一。結果名詞も動詞も「结果」でカバーし、上付き文字等で使い分け。
   * 学習コスト: 同上。
4. renkont / 遇 / 「(思いがけず)会う・出会う」 /
   * 選定理由: 中国語の「遇」(遇到、遭遇など)は「出会う・遭遇する」を表す常用字。「见面」や「碰面」もあるが2文字かつ新出が増えるため、1文字「遇」のみで割当。
   * 学習コスト: 新出1文字だが、比較的高頻度かつ「遭遇」でおなじみ。
5. tuŝ / 触 / 「触れる」 /
   * 選定理由: 中国語「触」(触觉、接触など)は「触れる」の意で広く使われる。日本語でも「触覚」「触れる」の「触」と共通。
   * 学習コスト: 1文字でわかりやすい。
6. kontakt / 接触 / 「接触」 /
   * 選定理由: 中国語のごく一般的な表現「接触」を使用。「触」をすでに tuŝ で使っており、「接」は新出だが高頻度漢字。
   * 学習コスト: 「触」は再利用、「接」も「接続」「面接」等で日本語話者にもなじみがある。
7. traf / 中 / 「(的に)当たる」「命中する」 /
   * 選定理由: 中国語では「打中」「击中」などの形で「当たる」「命中する」を意味する。「中」1文字は「命中」の意味を含み、かつ画数が少ないため採用。
   * 学習コスト: 「中」は日中ともに最頻出漢字の一つ。非常に覚えやすい。
8. palp / 摸 / 「手探りで探す、まさぐる」 /
   * 選定理由: 中国語「摸」(摸索、抚摸など)は「(手で)探る・さわる」の意味が強い。日本語でも「撫でる」「手探り」のイメージで把握可。
   * 学習コスト: 新出だが常用度は比較的高め。
9. atak / 攻 / 「攻撃する」 /

* 選定理由: 「攻击(攻撃)」の「攻」を1文字で代表させる。日本語でも「攻撃」「専攻」等に含まれ、意味を推測しやすい。
* 学習コスト: 1文字であり画数も7画と多くはない。

1. invad / 侵 / 「侵入する」 /

* 選定理由: 「侵入」「侵略」の「侵」。日中ともに「侵す」の字として認知され、「侵入する」の意味が分かりやすい。
* 学習コスト: 1文字で明確に「侵入」のニュアンスを表せる。

1. penetr / 透 / 「(内部に)浸透する」「貫通する」 /

* 選定理由: 中国語「透」(穿透、透过)は「突き抜ける／透過する」の意。日本語でも「透明」「透き通る」の「透」として近いイメージ。
* 学習コスト: 新出1文字だが、意味が直感的に伝わりやすい。

1. infekt / 传染 / 「感染させる」 /

* 選定理由: 中国語で「伝染」を意味する代表的な2文字熟語(简体は「传染」)。感染を表す際の最頻単語の一つ。
* 学習コスト: 2文字だが「传」は「伝」の簡体で6画、「染」も9画と許容範囲。いずれも比較的高頻度。

1. gajn / 得 / 「(利益・報酬などを)得る、勝ち取る」 /

* 選定理由: 中国語「得到(得)」「赚得」などで「得る」「手に入れる」「利益を得る」を表す。「得」は勝利・成功を得る場合にも用いられる。
* 学習コスト: 常用字で日本語の「得(える)」とも対応しており覚えやすい。

1. venk / 胜 / 「(相手に)勝つ、打ち勝つ」 /

* 選定理由: 「胜利(勝利)」の「胜」。中国語では「赢」もあるが、「勝つ」という意味でより汎用性が高い「胜」を1文字採用。
* 学習コスト: 簡体字特有の形(日本語の「勝」の簡体)だが、「勝利」の意味を推測しやすい。

1. konker / 攻克 / 「征服する、攻略する」 /

* 選定理由: 中国語「攻克」は「攻め落とす／攻略する」という意味で「征服」に近い。すでに atak(攻) で「攻」を使用済みなので再利用。新出は「克」のみ。
* 学習コスト: 2文字ながら「攻」は既出、「克」も「克服」で日本語話者に馴染みがあり、かつ画数は比較的少なめ(7画)。

1. aĉet / 买 / 「買う」 /

* 選定理由: 中国語の「买」は「買う」の意味をストレートに表す。日本語の「買」の簡体字形で、イメージしやすい。
* 学習コスト: 1文字でわかりやすく、画数(6画)も多くない。

1. ricev / 收 / 「受け取る、受領する」 /

* 選定理由: 中国語「收」(收下、收到)は「受け取る」「回収する」の意味。簡潔で用途が広い。
* 学習コスト: 1文字で、画数(6画)も少なく覚えやすい。

1. akir / 得 / 「獲得する、入手する」 /

* 選定理由: gajn(得) と同じく、「得る」「獲得する」を意味する。「gajn」は「勝ち取る/利益を得る」ニュアンスがやや強めだが、同じ漢字を割り当て上付き文字等で区別も可能。
* 学習コスト: 既出の「得」を再利用するため追加コストなし。

1. kapt / 捕 / 「捕まえる、捕獲する」 /

* 選定理由: 中国語「捕」(捕捉、逮捕)は「捕える」「捕獲する」の意味で最適。日本語でも「捕まえる」「逮捕」の字。
* 学習コスト: 1文字で明確に意味が伝わる。

1. arest / 逮捕 / 「逮捕する」 /

* 選定理由: 中国語でも日本語でも「逮捕」は最も代表的な言い方。「捕」はすでに kapt で登場しているので再利用可。新出は「逮」のみ。
* 学習コスト: 2文字だが半分は再利用。「逮」(たい)も日本語で「逮捕」として馴染み深い。

1. ten / 持 / 「(手で)支える、保つ、保持する」 /

* 選定理由: 中国語「持」(持有、保持、坚持)は「持つ・保持する」全般をカバー。日本語でも「持つ」「支持」「維持」等で意味を推測しやすい。
* 学習コスト: 1文字。画数(9画)もまずまずで、日中双方にとって理解しやすい。

pren / 取 / 「取」は「手に取る・取得する」などの意味で日中双方で通じやすい / 比較的画数も少なく、他の熟語化にも転用しやすい

1. konfisk / 没收 / 中国語で「没収する」を表す標準的な2文字熟語 / 「没」は「無くす・取り上げる」のイメージ、「收」は「収める」イメージで他動詞にも転用しやすい
2. uzurp / 夺 / 本来は「篡夺」が正確だが「篡」は画数が多いため、よりシンプルな「夺」を採用 / 「奪う」のニュアンスが日中双方に分かりやすい
3. akapar / 买断 / 「市場を買い占める・買い切る」イメージとして中国語で広く使われる / 「买」は今後「買収(=収买)」などにも再利用可能、「断」は他の熟語(決断など)にも応用しやすい
4. korupt / 收买 / 中国語では「収买」(繁体字なら「買収」に近い)が「買収する(賄賂を渡す)」の意味として使われる / すでに出た「收」「买」の組合せで、学習コストを抑えつつ表現
5. kon / 识 / 中国語の「认识(認識する)」の核心要素「识」を単字で転用 / 「知る(人・物を見分ける)」の感覚に近く、画数も比較的少ない
6. sci / 知 / 「知識」の「知」で、「事実や方法を知っている」ニュアンス / 「通知」「知覚」など他での応用も効くため学習コストを抑えやすい
7. kompren / 明白 / 中国語で「明白」は「はっきり分かる・理解する」、日本語でも「明白(めいはく)」で「明らか」「理解する」のイメージがつかみやすい / 「明」は他でも多用される
8. rimark / 发觉 / 中国語で「発覚する・気が付く」のニュアンス / 「发」は今後「発明(=发明)」などにも転用可能、「觉」は「意識する・気づく」を表す要素として他でも活用可能
9. konsci / 自觉 / 中国語で「自覚(する)・意識する」、日本語の「自覚」とほぼ同じ / 「觉」は「気づく」の意味要素を再利用しており、学習コストをやや抑えられる
10. invent / 发明 / 中国語で「発明」の定番表現 / すでに使っている「发」と「明」の組合せで表現できるため、新規漢字を増やさずに対応可能
11. trov / 发现 / 中国語の「発見する」にあたる定型表現 / 「发」は既出、「现」は比較的画数が少なく、日本語の「現(げん)」に通じるためイメージしやすい
12. serĉ / 寻找 / 中国語で「探し求める」を意味するごく標準的な2文字熟語 / 「寻」は画数が少なく、「找」は「見つける・探す」の基本字であり、応用範囲が広い
13. esplor / 考察 / 中国語で「調べる・検討する・探究する」を意味し、比較的簡明 / 「考」(6画) + 「察」(9画) で合計15画ほどに収まり、他の「探索」「观察」などより画数を抑えやすい
14. aviz / 通知 / 中国語で「通知する」の定番表現 / すでに使っている「知」と新規の「通」(10画)を組み合わせることで、学習コストを抑えつつ正確に表現
15. avert / 警告 / 中国語・日本語いずれでも「警告」で通じ、警戒や注意喚起の意味合いが明確 / 「警」(10画)と「告」(7画)は今後「通告」など他でも利用可能
16. alarm / 警报 / 中国語で「警報」を指す定番表現 / 「警」は既出、「报」(7画)は「報告」「报纸」など基本的な単語にも使え、応用が利く
17. manifest / 表明 / 中国語で「はっきり示す・明らかにする」を意味 / 「明」は既出、「表」は日本語でも「表す」「おもて」の字で理解しやすい
18. deklaraci / 宣言 / 中国語で「宣言する」の定番表現 / 「宣」は9画だが、「宣布」「宣告」など関連表現に再活用可能
19. proklam / 宣布 / 中国語で「公に布告する」の意味合い / すでに採用した「宣」と、新たに「布」(5画)を加えるだけなので比較的学習負担が低い
20. anonc / 通告 / 「告知」「公表」として用いられる / 「通」は既出、「告」は「警告」と同字なので追加学習コストがほぼゼロ
21. deklar / 宣告 / 「宣言」「布告」「言い渡す」などのニュアンス / 「宣」「告」はどちらも既出文字であり、追加学習不要で運用可能

afiŝ / 海报 / 「ポスター」の意味として日中ともに一般的 /

* + 理由: 現代中国語で「ポスター」は通常「海报」。日本語でも「海報」という表記例は少なくないため、連想しやすい。
  + 学習コスト: 「海」(新出) + 「报」(後で他語根でも利用予定)。1文字で済む適当な簡体字は存在しないため2文字熟語を採用。

1. reklam / 广告 / 「広告」を表す基本単語 /
   * 理由: 現代中国語で「広告」は「广告」が最も一般的。
   * 学習コスト: 「广」+「告」。のちに「告」を別語根でも再利用予定。
2. propagand / 宣传 / 「宣伝」「プロパガンダ」に相当 /
   * 理由: 中国語で「宣伝」「プロパガンダ」に当たる語。日本語の「宣伝」とほぼ同形なので意味もつかみやすい。
   * 学習コスト: 「宣」(新出) + 「传」(のちに再利用予定)。
3. komunik / 沟通 / 「コミュニケーション」「意思疎通」を表す /
   * 理由: 中国語で「コミュニケーションする」は「沟通」「交流」「传达」などあるが、「沟通」が最も口語的・一般的。
   * 学習コスト: 「沟」(新出) + 「通」(後続で再利用予定)。比較的頻出の文字なので学習価値は高い。
4. inform / 通知 / 「知らせる」「通報する」に相当 /
   * 理由: 「inform」に最も近い中国語は「通知」や「告知」。すでに「通」が(4)で登場しているため、「通知」を選ぶことで重複を活かせる。
   * 学習コスト: 「通」(既出) + 「知」(新出)。どちらも非常に高頻度。
5. raport / 报告 / 「報告する」「レポート」に相当 /
   * 理由: 中国語で「報告」は「报告」が標準。日本語の「報告」と字面が似ており意味連想しやすい。
   * 学習コスト: 「报」(afiŝで既出) + 「告」(reklamで既出)。既出文字の組み合わせのみなので学習コスト低め。
6. bulten / 通报 / 「(定期)会報」「公報」「通報」「布告」に相当 /
   * 理由: 「bulletin」は中国語で「通报」「公报」「布告」等があるが、(4)の「沟通」と(6)の「报」を組み合わせられる「通报」を採用。
   * 学習コスト: 「通」(既出) + 「报」(既出)。完全に既出文字のみで構成。
7. depeŝ / 急报 / 「急報」「緊急メッセージ」を表す /
   * 理由: 「dispatch」「急報」に当たる中国語として「急报」が自然。
   * 学習コスト: 「急」(新出) + 「报」(既出)。緊急や切迫の意味を示す「急」は比較的頻度も高い。
8. peĉ / 沥青 / 「ピッチ(タール)」「アスファルト」に相当 /
   * 理由: 中国語で「ピッチ(固形のタール類)」は一般に「沥青」。
   * 学習コスト: 「沥」+「青」はいずれも新出。ただし他に短く一般的な一文字表記は無い。
9. punkt / 点 / 「点」「ドット」「ピリオド」に相当 /
   * 理由: 中国語で「点」は日本語の「点」と同形。非常に直感的。
   * 学習コスト: 一文字「点」(新出)のみ。
10. poent / 得分 / 「(試合などの)得点」「スコア」に相当 /
    * 理由: スコアを表す標準的表現は「得分」。単に「分」だけでは曖昧なので2文字熟語を優先。
    * 学習コスト: 「得」(新出) + 「分」(新出)。いずれも頻出。
11. not / 笔记 / 「ノート」「メモ」を表す /
    * 理由: 「note」「メモ」の意味に相当する一般的な現代語は「笔记」。
    * 学習コスト: 「笔」(新出) + 「记」(新出)。ただしどちらも比較的常用字。
12. komentari / 评论 / 「(評論的な)コメント」「論評」「レビュー」 /
    * 理由: 一般的な「コメント・評論」を示す語として「评论」が最適。
    * 学習コスト: 「评」(新出) + 「论」(新出)。やや抽象だが現代文でも高頻度。
13. koment / 注释 / 「注釈」「(文中の)コメント」を表す /
    * 理由: 文書中の「注釈」や「解説」「コメント」は中国語で「注释」が典型。
    * 学習コスト: 「注」(新出) + 「释」(新出)。こちらも学習価値の高い組み合わせ。
14. fokus / 焦点 / 「焦点」「フォーカス」に相当 /
    * 理由: 現代中国語で「焦点」はそのまま「焦点」。
    * 学習コスト: 「焦」(新出) + 「点」(punktで既出)。一部既出文字を再利用できる。
15. akcent / 重音 / 「アクセント(強勢)」「強調された音」に相当 /
    * 理由: 音声上の「アクセント」「ストレス」は中国語で「重音」。
    * 学習コスト: 「重」(新出) + 「音」(新出)。音関連の単語で今後「音」を再利用する可能性あり。
16. emfaz / 强调 / 「強調(する)」を表す /
    * 理由: 「emphasize」は中国語で「强调」が標準。
    * 学習コスト: 「强」(新出) + 「调」(新出)。どちらも比較的日常的に目にする字。
17. ŝajn / 似乎 / 「～のように見える」「(どうも)～らしい」 /
    * 理由: 「似乎」は「…のようだ」「…らしい」という推量表現で、中国語で日常的に用いられる。
    * 学習コスト: 「似」+「乎」は両方新出だが、文脈上もわかりやすい。
18. aspekt / 貌似 / 「見たところ～のようだ」「外見上～に見える」 /
    * 理由: 「貌似」は「見た目としては～に似ている」「～に見える」の意。(18)で用いた「似」を再利用できる。
    * 学習コスト: 「貌」(新出) + 「似」(ŝajnで既出)。
19. vid / 看见 / 「見る」「(目で)見える」 /
    * 理由: 「to see」に相当する最もベーシックな表現。「看见」は日本語の「見る／見える」に近いニュアンス。
    * 学習コスト: 「看」(新出) + 「见」(新出) だが、後で「rigard」「aŭdienc」でも一部再利用。
20. rigard / 看待 / 「(対象を)見る・眺める」「(どう)見なす」「評価する」 /
    * 理由: 「regard」や「to look at」のニュアンスが強い。日常表現として「看待」が比較的近い。
    * 学習コスト: 「看」(vidで既出) + 「待」(新出)。視るだけでなく「～と見なす」という意味を含む。
21. aŭdienc / 接见 / 「(公式に)引見する」「(偉い人に)会見する」 /
    * 理由: 「(高官や要人が)公式に会う」場合、中国語では「接见」がよく用いられる。
    * 学習コスト: 「接」(新出) + 「见」(vidで既出)。要人との面会を示す語としては適切。
22. referenc / 参考 /  
    選定理由: 「参考」は日中共通で「参照」「参考」の意味を表す非常にポピュラーな熟語です。  
    学習コスト: 「参(さん)」「考(こう)」はいずれも画数が比較的少なく、日中いずれの学習者にも比較的なじみがあります。
23. indeks / 索引 /  
    選定理由: 「索引」は「インデックス」の意味で日中ともに通じる標準的な表現です。  
    学習コスト: 「索」はやや画数が多め(10画前後)ですが、「引」は4画と少なめ。文献などで多用される熟語のため、認知度は高いです。
24. sugesti / 暗示 /  
    選定理由: エスペラント語根sugestiの日本語訳「暗示」と一致し、中国語でも「暗示」は「(心理的に)示唆する・それとなく示す」の意味で広く用いられます。  
    学習コスト: 「暗」(13画)と「示」(5画)で合計18画と少なくはありませんが、「示」は後述の「表示」「指示」等にも登場予定なので使い回しが可能です。
25. revelaci / 启示 /  
    選定理由: 宗教的な「啓示」「啓示を受ける」といった文脈は、中国語で「启示(启蒙の启＋表示の示)」が通例。日中ともに「啓示」という発想は分かりやすいです。  
    学習コスト: 「启」は7画で比較的単純な部首構造、「示」も既出なので大きな負担増にはなりにくいです。
26. montr / 显示 /  
    選定理由: 「示す」「表示する」「見せる」という文脈の中国語で最も一般的なのが「显示」です。日本語話者も「表示」のニュアンスで類推しやすいでしょう。  
    学習コスト: 「显」は9画、「示」は5画。すでに「示」は重複活用中なので学習コストはやや抑えられます。
27. indik / 指示 /  
    選定理由: 「指し示す」の定番として「指示」を採用しました。日中いずれにも「指示を出す」「指示を与える」で通じます。  
    学習コスト: 「指」(9画)と「示」(5画)。こちらも「示」は再利用しており、学習コスト軽減につながります。
28. alud / 暗指 /  
    選定理由: 「ほのめかす」「(間接的に)言及する」のニュアンスを持つ語。中国語では「暗示」も使えますが、すでにsugestiに「暗示」を割り当てたため、こちらは「暗指」(暗に指す)を採用して区別しました。  
    学習コスト: 「暗」は前出(sugesti)と同じ。「指」も(indik)で登場済み。文字の再利用ができ、追加学習の負担は小さめです。
29. cit / 引用 /  
    選定理由: 「引用する」は日中ともに「引用」で非常に直感的。中国語の常用表現でもありますし、日本語でも馴染み深いです。  
    学習コスト: 「引」は索引で登場済み、「用」は基本的な字(5画)です。
30. menci / 言及 /  
    選定理由: 「(話の中で)言及する」「言葉にして触れる」の意味で、「言及」は日中ともに公的・書面語として通用します。  
    学習コスト: 「言」(7画)と「及」(3画)で計10画。比較的すっきりした構成です。
31. pasi / 热情 /  
    選定理由: 「情熱」「パッション」に相当する中国語の常用表現として「热情(熱情)」が最も使われます。  
    学習コスト: 「热」(10画)と「情」(11画)で21画ですが、中国語で「情」は様々な感情表現に使われる常用漢字なので再利用性が高いです。
32. fervor / 热情 /  
    選定理由: 「熱心さ」「熱意」「熱情」とほぼ同義なので、こちらも「热情」にまとめてしまい学習コストを下げます。  
    学習コスト: 既にpasiで「热情」を使用済み。重複利用により追加負担はありません。
33. entuziasm / 热情 /  
    選定理由: 「熱狂」「熱中」「エネルギッシュな熱意」という文脈も、広義の「热情」で中国語では十分表現可能。  
    学習コスト: 同じく「热情」を再利用。これにより学習する字種を最小限に抑えます。
34. sci/vol## / 好奇 /  
    選定理由: 日本語「好奇心のある」= 中国語「好奇」。非常にシンプルに「好奇(＝好奇心)」と表現できます。  
    学習コスト: 「好」(6画)と「奇」(8画)。ともに日中で使用頻度が高く、覚えやすい字です。
35. interes / 兴  
    選定理由: 動詞「(人を)興味を引かせる」に近いイメージとして、単字「兴(興)」を仮割当としました。本来は「使感兴趣」などが自然ですが、短さ重視でここでは「兴」単独を当てています。  
    学習コスト: 「兴」は6画と少なく、後述の「兴趣」にも含まれる字なので一貫性を持たせやすいです。
36. interes## / 兴趣 /  
    選定理由: 名詞「興味」に当たる語として、現代中国語の定番「兴趣」を採用。  
    学習コスト: 「兴」は既出、追加の「趣」は15画とやや多めですが、これも常用字なので比較的認知度は高いです。
37. ambici / 野心 /  
    選定理由: 「野心」は日中ともに「野望・野心・大きな志」の意味を表します。  
    学習コスト: 「野」(11画)と「心」(4画＝簡体筆順で3～4画扱い)はそこそこ見る字で、学習コストは中程度。
38. dezir / 欲 /  
    選定理由: 「望む」「欲する」というニュアンスに対応する最も直接的な単字が「欲」です。  
    学習コスト: 10画ほど。日本語でも「欲(よく)」は日常的に目にするため認知しやすいです。
39. esper / 希望 /  
    選定理由: 「希望」はまさに「(を)希望する」のベーシックな表現。  
    学習コスト: 「希」(5画)と「望」(7画)の計12画で、こちらも日常で頻出する語彙です。
40. avid / 渴望 /  
    選定理由: 「渇望する」「熱望する」の定番訳。「渴」は「のどが渇く」の意味もありますが、「渴望」で「切望」「強い欲求」を表せます。  
    学習コスト: 「渴」(11画)は後述のsoifとも関連、「望」(7画)はesperで既出のため使い回しが可能です。
41. aspir / 渴望 /  
    選定理由: 「(～を)熱望する」「強く望む」。上記19(avid)とほぼ同義なので、あえて同じ「渴望」に集約し、字種を抑えました。  
    学習コスト: 追加学習負担なし(再利用)。
42. apetit / 食欲 /  
    選定理由: 「食欲」はまさに日中で同形同義。「apetit＝食欲」で直感的に結び付きます。  
    学習コスト: 「食」(9画)と「欲」(前出17で既出)の組み合わせ。再利用もあるので効率的です。
43. soif / 渴 /  
    選定理由: 「のどが渇く」「渇く」という意味を単字で表すなら「渴」が最適。  
    学習コスト: 既に(19)(20)で「渴望」の一部として登場済みなので、単字としても再利用することで字種を抑えられます。

sopir

* 提案: 想
* 理由: 「想」には「思う／恋しく思う／～したいと思う」などの意味があり、「恋しがる・恋しく思う」「渴望(切望)する」ニュアンスを比較的端的に表せる。
* 学習コスト: 既に日常的に使われる常用字であり、日本語話者・中国語話者ともになじみが深い。画数は多め(13画)だが、非常に高頻度なので学習価値が高い。

1. verv

* 提案: 劲
* 理由: 「劲(勁)」は「力強さ」「活力」「熱意」といった意味合いを持ち、「(芸術・精神活動などの)情熱」＝「verve, zest」のニュアンスに近い。
* 学習コスト: 簡体字「劲」は画数(7画)が比較的少なく、日本語話者にも「勁」の異体字として推測可能。後述の「エネルギー系語彙」と合わせて使い分けやすい。

1. vigl

* 提案: 活
* 理由: 「活」は「活発」「活気がある」「生き生きしている」などを表し、語義「活発な(lively)」に合致。
* 学習コスト: 基本的な常用字(9画)であり、日本語・中国語での用法も類似しているため学習しやすい。

1. aktiv

* 提案: 动
* 理由: 「动(動)」は「動く」「活動する」「アクティブである」という意味。エスペラントの“aktive / activa”に対応しやすい。
* 学習コスト: 日本語の「動」と同字源でわかりやすい。簡体字(6画)は画数も少なく、使用頻度が高い。

1. nervoz

* 提案: 紧张
* 理由: 中国語で「紧张」は「神経が張り詰める／緊張する／不安になる」等を表す標準的な2文字熟語。エスペラントの「神経質な・不安な」(nervoz)に近い。
* 学習コスト: 「紧(9画)」「张(7画)」はいずれも頻出度が高く、日本語でも「緊張」という熟語があるため意味を連想しやすい。

1. nerv

* 提案: 神经
* 理由: 「神经」は「神経」を意味する標準的な中国語。1文字ずつでは神=god/精神, 经=経(たて糸/経書)等となり、セットで「神経」を表すのが自然。
* 学習コスト: 「神(9画)」は後述の「精神」にも登場、「经(8画)」もさまざまな単語に含まれる常用字であるため転用価値が高い。

1. energi

* 提案: 能
* 理由: 単体の「能」は「能力」「エネルギー」の概念にも用いられ、「能源(エネルギー源)」「功能(機能)」「可能」など派生語も多い。
* 学習コスト: 10画だが非常に汎用性が高く、日本語でも「能(のう)」として存在するので学習しやすい。

1. anim

* 提案: 魂
* 理由: 「anim = 魂・霊魂」という意味に対応する簡潔な単字として「魂」が最適。
* 学習コスト: 13画とやや多いが、「魂魄(こんぱく)」など日本語話者にも馴染みのある字。中国語でも一般的に「灵魂(línghún)」の一部として使われる。

1. spirit

* 提案: 精神
* 理由: 「精神」は「心の働き」「スピリット」を表す非常に一般的な熟語(中国語でも標準)。
* 学習コスト: 「精(14画)」「神(9画)」はやや画数が多いが、既に「神」は登場済み。「精神」という組み合わせは日本語・中国語ともに極めて高頻度なので学習しやすい。

1. mens

* 提案: 心
* 理由: 「mens = mind(精神・心・知力)」を表すのに、簡潔かつ直感的な「心」を採用。
* 学習コスト: 4画と少なく、日本語・中国語とも「心＝こころ／xīn」で基本的な字なので覚えやすい。

1. spion

* 提案: 间谍
* 理由: 中国語で「スパイ」に最も対応する語が「间谍」。1文字で「谍」としても意味は通じるが、2文字熟語の方が自然。
* 学習コスト: 「间(7画)」「谍(12画)」はいずれもそれなりの頻度があり、「时间(時間)」「情报(情報)」関連で用いる「谍报」などとも関連する。

1. sfinks

* 提案: 斯芬克斯
* 理由: 中国語の一般的な音訳「斯芬克斯(Sī-fēn-kè-sī)」。あるいは「狮身人面像」の表記もあるが、より文字数が多い。
* 学習コスト: 外来語の音訳例なので、純粋に「スフィンクス」を指す固有名詞として割り切れるならば問題ない。未対応にしても可。

1. ĉampan

* 提案: 香槟
* 理由: 中国語で「シャンパン」は「香槟(xiāngbīn)」が一般的。
* 学習コスト: 「香(9画)」は後述でも多用。「槟(14画)」はやや画数が多いが、香槟は日常でもそこそこ目にするため学習コストは許容範囲。

1. skandal

* 提案: 丑闻
* 理由: 中国語で「スキャンダル」に相当する熟語が「丑闻(chǒu wén)」。
* 学習コスト: 「丑(4画)」「闻(9画)」ともに比較的シンプル。日本語にも「醜聞」という熟語があり連想は容易。

1. gust

* 提案: 味
* 理由: 「味」は「味わい」「味覚」「味(あじ)」を直接指し、簡潔に対応可能。
* 学習コスト: 8画。日本語・中国語で共通の基礎的な字。

1. spic

* 提案: 香料
* 理由: 「スパイス＝香辛料」は中国語で「香料」または「香辛料」。うち「香料」が短く自然。
* 学習コスト: 「香」は再利用。「料(10画)」は新規だが、料理・材料などでも多用される常用字。

1. parfum

* 提案: 香水
* 理由: 「香水」は「パフューム」「香水」という意味で最も一般的。
* 学習コスト: 「香」は既出。「水(4画)」は極めて基本的で学習負担が小さい。

1. arom

* 提案: 香气
* 理由: 「aroma, 芳香」を中国語では「香气」「香味」などで表すが、「香气(xiāngqì)」が「香り全般」を示すのに適当。
* 学習コスト: 「香」は再利用。「气(4画)」は「空気」「気体」などにも使われる非常に基本的な字。

1. odor

* 提案: 气味(※実際の簡体は「气味」)
* 理由: 「odor＝(発する)におい、臭気」に相当する中国語として「气味(qìwèi)」が標準。
* 学習コスト: 「气」「味」はいずれも既出(18番・15番)なので新規学習不要。

1. flar

* 提案: 闻
* 理由: 「闻(wén)」は現代中国語で「ニュース・聞く」の意味が強いが、本来「においを嗅ぐ」の意もある。「嗅(xiù)」は正確だが画数(13画)多めなので、既存の「闻」を再利用し学習コストを削減。
* 学習コスト: 既に14番「丑闻」で「闻」を使っているため、新規負担なし。

1. mosk

* 提案: 麝香
* 理由: 「じゃ香＝麝香(musk)」は中国語で「麝香(shèxiāng)」が標準表記。
* 学習コスト: 「麝(15画)」はやや難字だが、「香」は既出。「musk」の固有概念であるため、割り切った学習と考えればよい。

1. incens

* 提案: 香
* 理由: 「incense＝香(お香)」を指す場合、中国語で「香を焚く」は「烧香」などという。単独「香」でも「香(こう)＝インセンス」の意味が通じる。
* 学習コスト: 既出の「香」をそのまま再利用できる。

### 1) aer → 空气 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: aer
2. 提案する簡体字(または熟語): 空气
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「空気」を表す標準的な語。日本語の「空気」と発音・意味ともに対応し、直感的にも分かりやすい。
   * 単に「空」(空・天空)や「气」(気体・ガス)のどちらかだけでは語感がやや曖昧なので、二文字の「空气」にした。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「空」(kōng)・「气」(qì)はいずれも画数が比較的少なく、今後も大いに使い回せる常用字である。

### 2) atmosfer → 大气 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: atmosfer
2. 提案する簡体字(または熟語): 大气
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「大気・大气层(＝大気圏)」といえば「大气」が最も直接的。
   * 「空気(空气)」と区別したい場合にも、標準的な用語で分かりやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「大」は3画という非常に画数の少ない字で、覚えやすい。
   * 既出の「气」を再利用できるので、追加の新出文字は「大」のみ。

### 3) vapor → 汽 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: vapor
2. 提案する簡体字(または熟語): 汽
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「蒸気」を表すとき、「蒸汽(zhēngqì)」とも言うが、簡潔に「汽」1文字でも「水蒸気・ガス状のもの」のニュアンスを持つ。
   * 自動車「汽车(汽車)」の「汽」が “蒸気由来の動力” の名残で、蒸気・気体という発想が分かりやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * すでに登場している「气」の変形(さんずい+气)であり、偏旁的にも関連して覚えやすい。

### 4) gas → 气(気) / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: gas
2. 提案する簡体字(または熟語): 气(※正確には簡体字「气」)
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「気体全般、ガス状のもの」を表す最も基本的な字。
   * 日本語の「気」に相当し、イメージ的にも容易に連想できる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「气」は画数が少なく、すでに「空气」「大气」などでも使った字なので使い回ししやすい。

### 5) stertor → 喘 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: stertor
2. 提案する簡体字(または熟語): 喘
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語の「喘(chuǎn)」は「喘ぐ・あえぐ・呼吸が荒くなる」という意味をもち、stertor(喉が鳴るような荒い呼吸)に近い。
   * 「喘息」「气喘」等の派生語もあり、関連づけて覚えられる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数はやや多めだが(10画)、荒い呼吸系の派生語すべてをこの字で統一できるメリットが大きい。

### 6) spir → 呼吸 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: spir
2. 提案する簡体字(または熟語): 呼吸
3. 選定理由・根拠:
   * 「呼吸」は中国語でも「hūxī」と読み、動詞として「呼吸する」、名詞としての「呼吸」に対応。
   * 日本語の「呼吸」と同じ二字熟語なので、連想しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 新たに「呼」「吸」の2字は増えるが、今後「吸う」(吸収など)「呼ぶ」(呼叫など)の派生にも使えるため、汎用性は高い。

### 7) astm → 气喘 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: astm
2. 提案する簡体字(または熟語): 氣喘(※簡体字「气喘」)
3. 選定理由・根拠:
   * 医学的に正式な「哮喘(xiàochuǎn)」を簡略化し、既出の「喘」を活用。「气喘」と書けば「息切れ・喘息」をイメージしやすい。
   * 厳密な医学用語ではないが、学習簡便さを優先し、荒い呼吸による疾患(=喘息)のイメージを統一化。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「气」はすでに登場済み。「喘」も前項(stertor)で登場済みなので、新出はなし。

### 8) patent → 专利 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: patent
2. 提案する簡体字(または熟語): 专利
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「特許」を指す最も一般的な語。「专(專)」=「専/特別にする」、「利」=「利益・権利」。
   * 日本語話者にとっても「特許」と同様の概念であるとイメージしやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「专」「利」いずれも常用の簡体字。短い二字熟語で、後から「专用」「利用」などへ展開可能。

### 9) inĝenier → 工程师 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: inĝenier
2. 提案する簡体字(または熟語): 工程师
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「エンジニア」は「工程师(gōngchéngshī)」が最も標準的。
   * 日本語でも「エンジニア＝技師・技術者」のイメージ。中国語の常用表現なので妥当。
4. 学習コストに関する考察:
   * 新出漢字は「工」「程」「师」の3つ。ただし「工」(3画)は非常に基本的な字で、他の複合語「工作(仕事)」等にも使える。
   * 「程」「师」は「程序(プログラム)」「老师(先生)」などでも再利用される。汎用性は高い。

### 10) art → 艺术 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: art
2. 提案する簡体字(または熟語): 艺术
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「芸術・技芸」の基本語。「艺术(yìshù)」は広く「アート」を意味し、技術的ニュアンスもある場合がある。
   * 日本語の「芸術」とも対応し、直感的に把握しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「艺」(4画)と「术」(5画)はいずれも常用字。「技術(=技术)」にも「术」が登場するので、一度覚えると応用可能。

### 11) teknik → 技术 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: teknik
2. 提案する簡体字(または熟語): 技术
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「技術」を指す基本的な単語。「技术(jìshù)」。
   * 日本語「技術」と漢字が近く、意義もほぼ同じ。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「技」は新出だが、「术」は「芸術(艺术)」で既出。今後も「技巧」「技能」などに派生可能。

### 12) teĥnik → 技术 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: teĥnik
2. 提案する簡体字(または熟語): 技术
3. 選定理由・根拠:
   * 意味としては上記(teknik)と全く同義なので、同じ「技术」を再利用。
4. 学習コストに関する考察:
   * 追加の新出漢字はなし。学習の負担を増やさずに済む。

### 13) kvalit → 质 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: kvalit
2. 提案する簡体字(または熟語): 质(簡体字；日本語の「質」)
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「质量(＝品質)」とも書くが、まず1文字で「质」は「本質・品質」を示す要素が強い。
   * 日本語の「質」とほぼ同じ漢字なので、意味連想も容易。
4. 学習コストに関する考察:
   * 単独の「质」は8画で比較的覚えやすい。後で必要に応じ「质量(質量)」などに拡張可能。

### 14) karakteriz → 特征 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: karakteriz
2. 提案する簡体字(または熟語): 特征
3. 選定理由・根拠:
   * 「特色」「特征」はいずれも「特徴」や「特色付ける」ニュアンスがあり、「特征(tèzhēng)」は「特徴・特性」という意味で広く使われる。
   * 動詞として「…を特色づける」に完全に一致する単語はやや長くなるため、ここでは汎用的な「特征」を割り当て。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「特」(10画)、「征」(8画)はいずれも常用字。今後「特别」「征服」などにも登場する可能性があり汎用性は悪くない。

### 15) atribut → 属性 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: atribut
2. 提案する簡体字(または熟語): 属性
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「属性(shǔxìng)」は「ものや概念がもつ属性・特性」を指す。
   * 日本語「属性」と同じ二字熟語のため、意味を推測しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「属」(12画)・「性」(8画)はいずれも広く使う常用漢字。「性」は後述の「性格」「性能」などで再利用予定。

### 16) karakter → 性格 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: karakter
2. 提案する簡体字(または熟語): 性格
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語でも「性格(xìnggé)」は「人の内面的な性質・キャラクター」を表す最も一般的な単語。
   * 日本語とも同一表記。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「性」は前項(属性)で既出を活用。「格」は10画だが、これもよく使う字であり「合格」「格外」などにも応用が利く。

### 17) ec (接尾辞: ~性質) → 性 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: ec
2. 提案する簡体字(または熟語): 性
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語の語尾「～性(～xìng)」は抽象的な性質や属性を示す際によく用いられ、エスペラントの -ec に相当。
   * 日本語でも「～性(例: 可能性)」の形で広く使われる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「属性」「性格」で既出の「性」をそのまま利用。追加の学習負担なし。

### 18) funkci → 功能 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: funkci
2. 提案する簡体字(または熟語): 功能
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「機能・働き」を表す語として「功能(gōngnéng)」が最も一般的。
   * 日本語「功能」は馴染みが薄いかもしれないが、「機能(功能)」という意味だと理解しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「功」(5画)と「能」(10画)はいずれも今後再利用可能。後述の「官能」「才能」「能力」で「能」を再利用する。

### 19) volupt → 官能 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: volupt
2. 提案する簡体字(または熟語): 官能
3. 選定理由・根拠:
   * 日本語「官能」と同形。「感覚器官による感覚的な悦び」を指す場合に用いられる。
   * 中国語「官能(guānnéng)」は「感覚器官の機能」の意味が強めだが、語源的イメージは通じる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「官」は新出だが、「能」は「功能」で既出。「官」(8画)も「官職」「官员」などで汎用性がある字。

### 20) pov → 能 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: pov
2. 提案する簡体字(または熟語): 能
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語で「能(néng)」は「できる」「能力がある」という意味をもち、「can」に相当する助動詞的な使い方もする。
   * エスペラントpov- (～できる)のニュアンスに非常に近い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「能」はすでに「功能」「官能」などで使っているため追加負担なし。

### 21) talent → 才能 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: talent
2. 提案する簡体字(または熟語): 才能
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語でも「才能(cáinéng)」は「ある分野に優れた力」「才能・タレント」を示す常用語。
   * 日本語と同じ二字熟語で「才能」。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「才」(3画)は初出だがシンプルかつ頻用字。「能」は既出なので追加の負担は「才」1字のみ。

### 22) kapabl → 能力 / 選定理由・根拠 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: kapabl
2. 提案する簡体字(または熟語): 能力
3. 選定理由・根拠:
   * 中国語「能力(nénglì)」は「有能さ」「(何らかの行為を遂行する)能力」を指す基本語。
   * エスペラントの“capable, able to”という意味に合致。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「能」は既出、「力」は2画と極めて少ない画数で、非常に頻用される字(「力气」「努力」など)のため導入メリットが大きい。

### 1) kompetent

swift

Copy

kompetent/能/「能力がある」「可能である」を広く示す漢字で、中国語圏でも「有能力」「能干」などと直結しやすいため/常用字で画数も比較的少なく、学習コストを抑えられる

* 提案漢字: 能
* 理由: 中国語「能干(有能力)」に通じ、「できる・有能だ」というニュアンスを広くカバーする。
* 学習コスト: 使用頻度が高く、日本語でも「能力」の一字として馴染みがある。

### 2) merit

swift

Copy

merit/值/「値する」「価値がある」の意に近く、中国語の「值得」などに通じる/「値(価値)」関連の概念は次の語根でも再利用予定

* 提案漢字: 值
* 理由: 中国語で「值得(～に値する)」の「值」にあたり、「～に相応しい・価する」ニュアンスを示しやすい。
* 学習コスト: 画数は10画だが、「价值」「值得」など頻出語にも含まれ、日本語でも「値段」などで見覚えのある字形。

### 3) ind

swift

Copy

ind/值/「～に値する」「～する価値がある」を示す接尾辞なので、meritと同じ「值」を使い回す/すでに登場した字で学習コストを削減

* 提案漢字: 值
* 理由: 「ind」は「～に値する」「～する価値がある」を表すため、中国語の「值(值得)」と相性が良い。
* 学習コスト: 既出の字を再利用することで品目数を減らす。

### 4) kost

swift

Copy

kost/价/「コスト」「値段」「価格」に近く、中国語の「价格」「价钱」などとかかわる/「价」は6画と少なく、頻用字

* 提案漢字: 价
* 理由: 中国語で「价格(価格)」「价钱(値段)」といった語に通じ、コスト・値段のニュアンスを直接表す。
* 学習コスト: 「价」は6画で比較的シンプル。

### 5) valor

swift

Copy

valor/值/「価値」「(～するに)値する」の意味で、merit・ind と同系統なので「值」を再利用/価値系の語根をまとめて最小限の漢字で処理

* 提案漢字: 值
* 理由: 「value, worth」と対応。既に「merit」「ind」で使った字を流用して学習コストを低減。
* 学習コスト: 使い回しにより新たな漢字を増やさない。

### 6) ŝat

swift

Copy

ŝat/爱/「好む」「高く評価する」「好感を持つ」のニュアンスを、中国語圏で広く通じる「爱(愛する・好む)」で代用/字形も比較的馴染みがある

* 提案漢字: 爱 (※日本語の「愛」の簡体字)
* 理由: 「好き」「大切に思う」を端的に示せる。「重視」に近い感覚も含められる。
* 学習コスト: 10画程度だが、「愛」の簡体字として日本人も容易に連想できる。

### 7) taks

swift

Copy

taks/评/「評価する」「査定する」「見積もる」の意味があるので、中国語「评价(評價)」「评论(評論)」の「评」を採用/少ない画数で評価を表す

* 提案漢字: 评
* 理由: 中国語では「评价(評価)」「评论(コメント)」など、「評価・判断」の核心を担う文字。
* 学習コスト: 7画で比較的シンプル。頻出語の一部として認知されやすい。

### 8) dign

swift

Copy

dign/尊/「尊厳」「威厳」「高貴さ」「尊ぶ」のイメージに直結しやすい/以下の「estim」「respekt」と統一して同じ字を流用

* 提案漢字: 尊
* 理由: 中国語「尊严(尊厳)」に含まれ、まさにdignity(尊厳)を表す語。
* 学習コスト: 後述の尊敬関連語とも統一し、同字で一括処理することで品目数を抑える。

### 9) estim

swift

Copy

estim/尊/「尊敬する」「敬う」の意味。dignと同じ「尊」を使い回す/尊敬・尊厳など「尊」系の共通イメージを活用

* 提案漢字: 尊
* 理由: 「尊重」「尊敬」どちらも中国語・日本語で共通理解が可能。
* 学習コスト: 「dign」と同じ字を再利用し、追加負担を最小化。

### 10) respekt

swift

Copy

respekt/尊/「尊敬」「重んじる」の意味なので、estim・dignと同じ「尊」を用いて統一/使い回しで学習コスト削減

* 提案漢字: 尊
* 理由: 中国語「尊重(尊敬する)」などに対応。
* 学習コスト: dign, estim と同一字に統合する方針。

### 11) fier

swift

Copy

fier/傲/「誇り高い」「自負する」「やや傲慢」な含みがあるので、中国語で「傲(傲慢・驕傲)」を用いる/日本語の「傲慢」とも関連

* 提案漢字: 傲
* 理由: 中国語「骄傲(誇り・驕傲)」などで使われ、「誇り」を含むニュアンスが強い。
* 学習コスト: 画数はやや多め(12画程度)だが、「誇り・驕り」を端的に示す字。

### 12) hont

swift

Copy

hont/耻/「恥」「恥じる」「羞耻感」に通じる簡体字/日本語「恥」の簡体形として認識しやすい

* 提案漢字: 耻
* 理由: 中国語「羞耻(恥じる気持ち)」「耻辱(恥辱)」などを連想しやすい。
* 学習コスト: 6画と比較的少なめ。

### 13) kar

swift

Copy

kar/贵/「大切な」「高価な」「愛しい」のニュアンスを、中国語の「贵(高価・尊い)」で表現/後述のnoblも同字でまとめる予定

* 提案漢字: 贵
* 理由: 中国語で「贵重(貴重)」「亲爱的(親愛的)」とも意味的に近く、「高価・尊い・大切」という広義をカバー。
* 学習コスト: 以下のnoblと同じ字に統合予定で文字数削減。

### 14) ĉarm

swift

Copy

ĉarm/美/「魅力的な」「惹きつける」という点を広義の「美(美しさ)」で代替/後述のbelとも重複させて字数を抑える

* 提案漢字: 美
* 理由: 厳密には「魅」(より魔性的・魅惑的)もあるが画数多め(14画)。簡単で汎用度の高い「美」を優先。
* 学習コスト: belと同じ字にして最小限化。

### 15) bel

swift

Copy

bel/美/「美しい」の核心に対応する漢字として「美」を選択/ĉarmと同字で運用

* 提案漢字: 美
* 理由: 中国語・日本語ともに「美＝ビ・メイ」で馴染みが深く、「美麗(美しい)」など派生語が豊富。
* 学習コスト: 既出(ĉarm)再利用。

### 16) graci

swift

Copy

graci/优/「優美」「上品」「しなやかな」といった意味合いに、中国語「优(優)」を当てる/「優雅」「优美」に通ずる要素

* 提案漢字: 优
* 理由: 「优美(優美)」「优秀(優秀)」などに含まれ、「しなやか・優美」両面をイメージしやすい。
* 学習コスト: 6画の簡体字。「優」の簡体形で、日本語話者も推測しやすい。

### 17) elegant

swift

Copy

elegant/雅/「エレガント」「上品」「風雅」の意味を単字で示す/「优雅」(graci＋elegant)等の熟語にも連動

* 提案漢字: 雅
* 理由: 中国語「优雅(優雅)」「文雅(文雅)」などに用いられ、「上品さ」「風雅さ」を単字で表しやすい。
* 学習コスト: 画数はやや多め(12画)だが、日本語でも「雅(みやび)」として通じる。

### 18) majstr

swift

Copy

majstr/师/「師匠」「達人」「巨匠」の意に、中国語の「师(老師・師範など)」を対応/画数少なく汎用性大

* 提案漢字: 师
* 理由: 中国語では「师傅(師匠)」「大师(大師)」の中心字形で、専門性・熟練を連想しやすい。
* 学習コスト: 6画と簡潔。日本語の「師」の簡体字で意味を推測しやすい。

### 19) geni

swift

Copy

geni/才/「天才」「才能」を連想しやすいシンプルな漢字/「人才(人材)」「才华(才能)」などにも通じる

* 提案漢字: 才
* 理由: 非常に画数が少なく(3画)、「才能」「天才」を直接イメージできる。
* 学習コスト: 最低クラスの画数で、日本語でも「才能」の「才」として馴染みがある。

### 20) elokvent

swift

Copy

elokvent/口才/「雄弁」「話し上手」「弁の立つ」ニュアンスに通じる熟語/既出の「才」を活用し、口(3画)もきわめて基本的

* 提案熟語: 口才
* 理由: 中国語で「口才好(口が達者)」は「雄弁・流暢」を示す常用表現。一字で「辩」にする手もあるが、2文字熟語でわかりやすさ優先。
* 学習コスト: 「口」は3画、「才」は既出で3画。合計新規1要素(口)のみ。

### 21) nobl

bash

Copy

nobl/贵/「高貴な」「尊い」「高潔な」イメージを、中国語の「贵(貴)」で対応/karと同字で運用

* 提案漢字: 贵
* 理由: 中国語「高贵(高貴)」に直結。karとの共通字により品目数削減。
* 学習コスト: すでに(13) karで登場済み。

### 22) solen

swift

Copy

solen/肃/「荘厳な」「厳粛な」「静かに厳かな」のニュアンスに、中国語「肃(肅)」を用いる/「肃穆」「庄严肃穆」の一部として馴染みが深い

* 提案漢字: 肃
* 理由: 中国語「肃静(厳粛)」「肃穆(荘厳)」で「厳か」「粛然」の意味を表す代表的な字。
* 学習コスト: 8画で、礼儀や厳粛さをイメージしやすい。

1. majest / 尊 /
   * 選定理由: 「尊厳」「尊严」の「尊」。日本語の「尊厳」、中国語の「尊严」にも通じ、荘厳・威厳をイメージしやすい。
   * 学習コスト: 新出漢字だが、日中ともに意味を推測しやすい常用字。
2. grandioz / 壮 /
   * 選定理由: 「壮大」「雄壮」などで使われる「壮」は「雄大・壮観」のニュアンスを持つ。
   * 学習コスト: 比較的画数が少なく（6画）、日本語でも「壮大」「壮観」などでなじみがある。
3. pomp / 壮丽 /
   * 選定理由: 「壮观」「壮丽」は「華麗で壮大な様子」を表す中国語表現。すでに提案した「壮」と、新たに「丽（麗の簡体字）」を組み合わせた。
   * 学習コスト: 「壮」は再利用。新出「丽」は7画と比較的少なめ。
4. luks / 华丽 /
   * 選定理由: 「華麗」「奢華」をイメージできる。「华丽」は「ぜいたく」「豪華」の意味合いを端的に表す。
   * 学習コスト: 「丽」は上記で登場済み。新出「华」(6画)も中国語で頻出。
5. nobel / 贵 /
   * 選定理由: 簡体字の「贵」は日本語の「貴」に相当し、「高貴」「尊い」ニュアンスを端的に示せる。
   * 学習コスト: 画数は9画程度。日中いずれも「高価/高貴」としてイメージしやすい。
6. aristokrat / 贵族 /
   * 選定理由: 「貴族」に相当する標準的な中国語。すでに割り当てた「贵」と、新出「族」(7画)との組合せ。
   * 学習コスト: 「贵」は再利用。「族」は日中で「部族」「民族」などおなじみ。
7. profit / 利 /
   * 選定理由: 「利益」「利润」の核心部分である「利」。利益・儲けを表すのに分かりやすい。
   * 学習コスト: 7画で比較的シンプル。日中ともに「利点」「利益」などで使われる。
8. rajt / 权利 /
   * 選定理由: 権利を示す標準的な簡体語。「权」(権)＋「利」で「法的権利」「権限」を表せる。
   * 学習コスト: 「利」は再利用。「权」(6画)が新出だが、「权力」「权限」など頻出度が高い。
9. privilegi / 特权 /
   * 選定理由: 中国語で「特権」は「特权」。すでに登場の「权」に「特」を足した形。
   * 学習コスト: 「权」は再利用。「特」(10画)のみ新出だが、「特別」「特性」など汎用性が高い。
10. vol / 要 /

* 選定理由: 「～したい」「欲する」の基本動詞として中国語では「要」を多用。「意志・願望」を端的に示せる。
* 学習コスト: 9画程度。日本語でも「必要」「要点」などで見覚えがある。

1. volont / 乐意 /

* 選定理由: 「自分から進んで～する」「喜んで～する」を表す慣用表現。「乐」(楽しむ)＋「意」(意志) の組合せ。
* 学習コスト: 「乐」(5画)は新出。今後「快乐」「欢乐」などでも使い回せる。「意」(意志・意味)も今後の再利用が見込める。

1. plaĉ / 喜欢 /

* 選定理由: 「気に入る」「好きだ」を最も直接に表すのが「喜欢」。中国語で「like」に相当。
* 学習コスト: 新出は「喜」(12画)と「欢」(6画) の2字。どちらも「喜び」「歓喜」など関連表現が多く再利用しやすい。

1. prefer / 更喜欢 /

* 選定理由: 「より好む」＝「(さらに)好き」→「更喜欢」が直截。既出の「喜欢」を再利用し、「更」を加えた形。
* 学習コスト: 「喜欢」は再利用。「更」(7画)のみ新出。日本語「更に」でも馴染みがある。

1. feliĉ / 快乐 /

* 選定理由: 「幸せ」「幸福」＝「快乐」(直訳は「快い楽しみ」→ハッピー)。中国語で「幸福」「ハッピー」一般に使う語。
* 学習コスト: 「乐」はvolont(乐意)から再利用。「快」(7画)が新出。日本語「快適」などでもおなじみ。

1. ĝoj / 欢喜 /

* 選定理由: 「うれしい」「喜ぶ」「歓喜する」を表す常用表現。「欢」＋「喜」。
* 学習コスト: 「欢」「喜」はともにplaĉ(喜欢)等で既出。追加コストなし。

1. plezur / 乐趣 /

* 選定理由: 「喜び」「楽しみ」「快楽」「楽しむこと」の意味に近い「乐趣」が自然。「趣」は「興味・楽しみ」を表す。
* 学習コスト: 「乐」は再利用。「趣」(10画)は新出だが、日本語でも「趣味」「趣向」でおなじみ。

1. gaj / 欢乐 /

* 選定理由: 「陽気な」「明るい」「楽しい」＝「欢乐」。日常会話でも「新年快乐」「欢乐气氛」など頻出。
* 学習コスト: 「欢」と「乐」は既出。追加コストなし。

1. agrabl / 愉快 /

* 選定理由: 「快い」「愉しい」「気分がいい」を直接言うなら「愉快」。既出「快」と、新出「愉」(楽しむ、愉しい)。
* 学習コスト: 「快」は再利用。「愉」(10画)のみ追加だが、「愉悦」「愉しむ」等で汎用性がある。

1. favor / 好意 /

* 選定理由: 「好意的な」「好感」「好意」＝「好意」。親切な気持ち・好みを示す語として分かりやすい。
* 学習コスト: 「意」はvolont(乐意)で既出。「好」(6画)が新出だが、「喜欢」の「喜」とニュアンスが近く関連しやすい。

1. avantaĝ / 有利 /

* 選定理由: 「有利な」「優位」「得になる」→「有利」は簡潔で意味が取りやすい。profit(利)との関連も明示的。
* 学習コスト: 「利」は再利用。「有」(6画)が新出だが、「所有」「有用」など再利用が期待できる。

1. util / 有用 /

* 選定理由: 「有用」＝「役に立つ」「有益」。最も素直な「使える」「有用だ」の言い回し。
* 学習コスト: 「有」はavantaĝ(有利)で再利用。「用」(5画)が新出。日本語「用いる」「利用」などで馴染みがある。

1. oportun / 便利 /

* 選定理由: 「便利な」「使いやすい」をそのまま表す定番。「便利店(コンビニ)」などもあり認知度が高い。
* 学習コスト: 「利」はprofit等で再利用。「便」(9画)のみ新出。「方便」という単語もあるが、本提案では「利」を再利用して文字数を抑えた。

special / 特 /  
選定理由: 「特」は中国語で「特别(special)」の含意が強く、日本語でも「特別」の意味を連想しやすい。  
学習コスト: 画数はやや多め(特:10画)だが、両言語で非常に頻出かつ「特別」のイメージが明確。

1. ekstr / 余 /  
   選定理由: 中国語で「余」は「残り・余剰・余分」の意味があり、「extra」のニュアンスに近い。日本語でも「余分」「余剰」のイメージが伝わりやすい。  
   学習コスト: 7画で比較的シンプル。既に日本語でも常用される漢字。
2. sol / 独 /  
   選定理由: 中国語で「独」は「独自・単独」を意味し、日本語でも「独り(ひとり)」「独自」の連想が容易。「sole/alone」のイメージに合致。  
   学習コスト: 9画だが、頻度が高く両言語で意味が分かりやすい。
3. unik / 唯一 /  
   選定理由: 「唯一」は中国語・日本語ともに「ただ一つ」「唯一の存在」という意味で非常に分かりやすい。「unique」の意味を正確に表現できる。  
   学習コスト: 2文字(「唯」「一」)だが、どちらも日中でよく使う漢字。
4. apart / 别 /  
   選定理由: 簡体字「别」は「別れる・別にする」の意で、「apart」「separate」の感覚に近い。日本語の「別(べつ)」とも対応しやすい。  
   学習コスト: 7画、日常的に使われる字形。「特別(特别)」などでも用いられる字。
5. izol / 隔 /  
   選定理由: 「隔」は「隔離」「隔てる」などで「孤立させる・離す」の意味を強く持つため、"isolate"に相当。  
   学習コスト: 11画とやや多いが、中国語・日本語とも「隔離」という形で馴染みがある。
6. fremd / 外 /  
   選定理由: 「外」は中国語の「外国」、日本語の「外国・外部」などに共通し、"foreign"のニュアンスに直結。  
   学習コスト: 5画と少なく、非常に頻出。
7. divers / 多 /  
   選定理由: 「多」は「数が多い・たくさん」の意だが、中国語・日本語双方で「いろいろ」「多数種」など「多様性」を連想させやすい。  
   学習コスト: 6画とシンプルで、初学者にも取り組みやすい。
8. diferenc / 异 /  
   選定理由: 簡体字「异」は「不同・差異・異なる」の要素を持ち、「difference」「異なる」という意味に比較的近い。  
   学習コスト: 6画と少なく、伝統字「異」(11画)より学習しやすい。
9. ali / 他 /  
   選定理由: 「他」は「他人・他のもの」という意味で、中国語・日本語でも「別の対象」のニュアンスが分かりやすい。  
   学習コスト: 5画とシンプル。既知度も高い。
10. ceter / 余 /  
    選定理由: 「ceter＝残りの」に対し、「余」は「余り・残り」の意も持つため再利用。「ekstr(余分)」と意味が近く、学習上は同一漢字に上付き等で区別をつければよい。  
    学習コスト: すでに(2)で登場した漢字を使い回すため、新たな学習負担は増えない。
11. ekskluziv / 排他 /  
    選定理由: 「排他」は日本語でも「排他的」、中国語でも「排他性」等で使われる。「exclusive」を端的に表す熟語。  
    学習コスト: 「排」は新出(11画)だが、「他」は(10)で既出。2文字熟語だが意味が明確で再利用性も高い。
12. escept / 除 /  
    選定理由: 「除」は「取り除く」「除外する」を意味し、"to exclude, except"に合致。日中で共通してよく見られる表現。  
    学習コスト: 10画だが「除外」「解除」など頻出語で学習しやすい。
13. krom / 除外 /  
    選定理由: 「krom＝(の)ほかに, except for」のニュアンスには「除外」が最も直感的。既に「除」(13)と「外」(7)が出てきているため学習コストを抑えられる。  
    学習コスト: 既出の2文字を組み合わせるだけで新出なし。
14. ekster / 外 /  
    選定理由: 「(の)外で」「outside」の意味には、既に(7)で使用した「外」が最適。  
    学習コスト: 再利用のみで追加負担ゼロ。
15. intern / 内 /  
    選定理由: 「内」は中国語・日本語どちらでも「内部」「内側」を示しやすく、"inside/internal"の意味に対応。  
    学習コスト: 4画と少なく、使い勝手の良い漢字。
16. inkluziv / 包 /  
    選定理由: 「包」は「包む・包含する」の意で「include」に近い。「包含(含む)」など中国語・日本語の両方で連想可能。  
    学習コスト: 5画と少なく、比較的学習しやすい。
17. hav / 有 /  
    選定理由: 中国語で「有」は「持っている」、日本語でも「所有・有する」のイメージで「to have」を直接連想できる。  
    学習コスト: 6画、非常に頻出の基本漢字。
18. est / 是 /  
    選定理由: 中国語の「是」は英語のbe動詞に相当。「～である」を直接イメージできる。日本語話者にも「正しい」の古い用法などで馴染みはあるが、中国語の「to be」としても広く知られる。  
    学習コスト: 9画だが、中国語学習の最初期に覚える字で汎用性が極めて高い。
19. ekzist / 存在 /  
    選定理由: 「存在」は「to exist, existence」を日中ともに明確に表す熟語。1文字に絞ると若干曖昧になりがちなので2文字を採用。  
    学習コスト: 「存」(6画)と「在」(6画)ともに新出だが、両言語の重要単語「存在」で覚えられるメリットが大きい。
20. posed / 有 /  
    選定理由: 「所有」「拥有」のベースとなる「有」を再利用。意味としても「持つ」「所有する」に対応。  
    学習コスト: (18)と同一漢字につき、追加の学習負担はなし(上付き文字等で区別予定)。
21. aparten / 属 /  
    選定理由: 中国語「属于」、日本語「所属」に通じる「属」は「(に)帰属する、所属する」を連想しやすい。  
    学習コスト: 12画とやや多いが「帰属」「附属」などでも使われ、意味が取りやすい。

### 1) neces

1. エスペラント語根: neces
2. 提案する簡体字(熟語): 必要
3. 選定理由:
   * 「必要」は中国語でも「必要(bìyào)」、日本語でも同じく「必要」として使われ、「必要な」という意味を非常にわかりやすく表す。
   * 中国語・日本語圏いずれの話者にも直感的に通じる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 2文字だが、いずれも日中で頻出かつ画数(必:5画/要:9画)もそれほど多くない。今後「必」や「要」をほかでも活用できる。

### 2) bezon

1. エスペラント語根: bezon
2. 提案する簡体字(熟語): 需要
3. 選定理由:
   * 中国語では「需要(xūyào)」は「必要とする」「要る」の意味で広く使われる。
   * 日本語でも「需要」は経済用語として「需要と供給」の「需要」として通じ、ある程度意味が推測しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「需」はやや画数が多め(14画前後)だが、「要(必要の『要』)」を再利用しているため、学習コストはそこまで増えない。

### 3) dev

1. エスペラント語根: dev
2. 提案する簡体字(熟語): 必须
3. 選定理由:
   * 中国語で「必须(bìxū)」は「～しなければならない」「必須である」の意味。
   * 「must」「～ねばならない」という強い義務感を表し、日本語でも「必須」の形である程度馴染みがある。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「必」はすでに上記(必要)で登場。「须(鬚の簡体)」は新出だが、常用の範囲。

### 4) end

1. エスペラント語根: end (「～されるべき」「～すべき」などの意味をもつ接尾辞)
2. 提案する簡体字(熟語): 必
3. 選定理由:
   * 「end」は「必要・義務」を示す接尾辞なので、一文字「必」だけで「～すべし」「必然に～される」というニュアンスを簡便に示す案。
   * すでに「必要」や「必须」で出てきた「必」を再利用。
4. 学習コストに関する考察:
   * 新たな漢字を増やさず済むメリット大。

### 5) aplik

1. エスペラント語根: aplik
2. 提案する簡体字(熟語): 应用
3. 選定理由:
   * 中国語の「应用(yìngyòng)」は「応用する」「適用する」の意味で非常に代表的。
   * 日本語の「応用」も同じ字で読み方も「おうよう」。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「应」は初出だが、「用」は下記の「uz(用)」でも使う予定なので再利用しやすい。

### 6) uz

1. エスペラント語根: uz
2. 提案する簡体字(熟語): 用
3. 選定理由:
   * 中国語で「用(yòng)」は「使う」の意味そのもの。日本語でも「用いる」「～用」などで用法を類推しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 単一漢字で画数(5画)も少なく覚えやすい。ほかにも「应用」「可用」などで再利用可能。

### 7) dispon

1. エスペラント語根: dispon (自由に使う・処分する・自由に処置できる)
2. 提案する簡体字(熟語): 可用
3. 選定理由:
   * 「可用(kěyòng)」は直訳すると「使うことが可能、使用できる」という意味合い。
   * 「自由に使える」「手元にあって使える(= at disposal)」のニュアンスにも比較的近い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「可」は比較的画数(5画)が少ない常用字。すでに「用」は再利用。

### 8) konsum

1. エスペラント語根: konsum
2. 提案する簡体字(熟語): 消费
3. 選定理由:
   * 中国語で「消费(xiāofèi)」は「消費する」「支出する」の意味。日本語の「消費」にも対応。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「消(10画)」「费(9画)」はいずれも頻出とはいえ初出だが、ともに日中で非常に一般的な語彙。

### 9) barakt

1. エスペラント語根: barakt
2. 提案する簡体字(熟語): 挣扎
3. 選定理由:
   * 中国語で「挣扎(zhēngzhá)」は「もがく」「苦しんでもがく」「必死にあがく」の意味。
   * 日本語でも「挣扎」はあまり日常には出てこないが、「もがき苦しむ」的なイメージを感じ取りやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 2文字ともやや画数はある(挣:8画/扎:4画)が、「もがく」「苦しむ」ニュアンスの標準的表現。

### 10) pen

1. エスペラント語根: pen
2. 提案する簡体字(熟語): 努力
3. 選定理由:
   * 中国語の「努力(nǔlì)」は「努力する」「頑張る」の意味。日本語でも同じ字で「どりょく」。
   * 「pen」は「努力・頑張る・一生懸命～する」の意に近い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「努(7画)」「力(2画)」はいずれも比較的基本的な漢字。以後「力」を他でも流用できる。

### 11) klopod

1. エスペラント語根: klopod
2. 提案する簡体字(熟語): 尽力
3. 選定理由:
   * 中国語で「尽力(jìn lì)」は「力を尽くす、全力を注ぐ」という意味。日本語の「尽力(じんりょく)」とも合致。
   * 「奔走する」「あれこれ奔走して頑張る」のイメージに近い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「尽(3画)」「力(2画)」はいずれもわりと画数が少なく、すでに「力」は再利用文字。

### 12) prov

1. エスペラント語根: prov
2. 提案する簡体字(熟語): 试
3. 選定理由:
   * 中国語で「试(shì)」は「試す」「試みる」「テストする」の意味。
   * 日本語の「試(し)」と同じ字形(ただし繁体は「試」)だが、意味は共通して推測しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 単一漢字で8画。よく使われる常用字。

### 13) streb

1. エスペラント語根: streb
2. 提案する簡体字(熟語): 奋力
3. 選定理由:
   * 中国語で「奋力(fènlì)」は「力を奮う・奮闘する・全力を尽くす」の意味。
   * 「streb」は「(目標に向かって)全力を尽くす・努力して追求する」のニュアンスで、「奋力」はそれによく合う。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「奋(5画)」は「努力」「奮い立つ」の意味で、すでに「勤奋」(後述17番)などでも再利用可能。「力」は再出。

### 14) aŭdac

1. エスペラント語根: aŭdac
2. 提案する簡体字(熟語): 敢
3. 選定理由:
   * 中国語で「敢(gǎn)」は「敢えて～する・思い切って～する・大膽にも～する」という語感。
   * 「ずぶとい/厚かましい/大胆」のような「あえて踏み込む」ニュアンスに比較的近い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 単独1文字。日本語としては音読み「カン」や熟語「勇敢」などで見かけるため全く未知ではない。

### 15) kuraĝ

1. エスペラント語根: kuraĝ
2. 提案する簡体字(熟語): 勇
3. 選定理由:
   * 「勇(yǒng)」は中国語でも「勇気・勇敢」など「勇」の概念を表し、日本語でも「勇(いさむ)」「勇気(ゆうき)」など連想が容易。
   * 「kuraĝ」は「勇気・度胸」を意味するため、シンプルに「勇」1文字で対応しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 9画とそこそこだが、日中いずれの言語にも馴染み深い文字。

### 16) brav

1. エスペラント語根: brav
2. 提案する簡体字(熟語): 勇敢
3. 選定理由:
   * 「brav」は「勇敢な」「立派な」「腕が立つ」などのニュアンス。「勇敢(yǒnggǎn)」はまさに「勇気あって大胆な」ことを指す。
   * 上記14番の「敢」を再利用しつつ、「勇」も再利用可能。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「勇敢」は2文字とも既出(勇/敢)。追加学習なしで済む。

### 17) diligent

1. エスペラント語根: diligent
2. 提案する簡体字(熟語): 勤奋
3. 選定理由:
   * 中国語で「勤奋(qínfèn)」は「勤勉な」「よく努力する」という意味。日本語でも「勤勉」＋「奮起」イメージで推測しやすい。
   * 「diligent」は「コツコツ働く・学ぶ」というニュアンスが強く、「勤奋」は的確。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「奋」は既に(13)strebなどで使用。「勤(きん)」のみ新規だが、日中で頻用される字でもある。

### 18) pacienc

1. エスペラント語根: pacienc
2. 提案する簡体字(熟語): 耐心
3. 選定理由:
   * 中国語で「耐心(nàixīn)」は「我慢強い」「辛抱強い・根気がある」の意味。
   * 日本語でも「耐える」「心(こころ)」で「耐心」は文字通り「我慢強い心」と推測できる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「耐(9画)」「心(4画)」。どちらも常用であり、意味が直感的に分かりやすい。

### 19) persist

1. エスペラント語根: persist
2. 提案する簡体字(熟語): 坚持
3. 選定理由:
   * 中国語で「坚持(jiānchí)」は「頑張る」「持続して諦めない」「固く続ける」という意味。
   * 「persist」の「やり抜く」「耐え抜く」ニュアンスに最適。日本語でも「堅持(けんじ)する」で「主張を貫く」など連想しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「坚(7画)」「持(9画)」はいずれも常用。うち「持」は「用・力」などに比べれば新規だが、比較的よく使われる字。

### 20) super

1. エスペラント語根: super
2. 提案する簡体字(熟語): 上
3. 選定理由:
   * 「super」は「～の上方に」「超えて」「上位の」のような意味合い。場所的な「上方」を表すなら「上」一文字が最も直感的。
   * 日本語・中国語ともに「上(うえ・shàng)」で「上方」を示すためわかりやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 3画だけの非常に基本的な文字なので学習しやすい。

### 21) supr

1. エスペラント語根: supr
2. 提案する簡体字(熟語): 顶
3. 選定理由:
   * 「supr」は「頂上」「上部」「最上点」を表すことが多い。中国語簡体字では「顶(dǐng)」が「頂(いただき)」の意味。
   * 日本語の「頂上」「山頂」で用いられる繁体の「頂」を、簡体では「顶」と書く。
4. 学習コストに関する考察:
   * 8画程度で難しすぎず、日常単語「山顶」「顶点」で使われるため汎用性もある。

### 22) lev

1. エスペラント語根: lev
2. 提案する簡体字(熟語): 举
3. 選定理由:
   * 中国語「举(jǔ)」は「持ち上げる」「挙げる」「高く掲げる」の意味。
   * 「lev」は「上にあげる」「上げる動作」を指すため、もっとも直接的な単字。
4. 学習コストに関する考察:
   * 9画程度。日本語でも「挙(あげる)」という字があるので推測しやすい。

grimp / 登 /

* + 選定理由: 「登」は「登山」などの「のぼる」ニュアンスが日中双方で広く認知されており、単字としても意味が取りやすい。
  + 学習コスト: 一字で済み、かつ日本語でも常用漢字なので、日本人・中国人双方に学習しやすい。

1. furor / 流行 /
   * 選定理由: 「流行」は「大ヒット・ブーム」を意味し、日中ともに同じ意味で使われるため分かりやすい。
   * 学習コスト: 2文字だが、いずれも頻出で日中での認知度が高く、意味連想もしやすい。
2. sukces / 成功 /
   * 選定理由: 「成功」は日中いずれも「うまくいく・成功する」の意味で非常にポピュラー。
   * 学習コスト: 常用度が高い2文字で、日本人にも馴染みがあり理解しやすい。
3. prosper / 盛 /
   * 選定理由: 中国語では「繁盛」「昌盛」「兴盛」などに含まれる「盛」は「繁栄・隆盛」のイメージをもつ単字。日本語でも「盛ん」という形で「勢いが盛る」ニュアンスが分かりやすい。
   * 学習コスト: 単字で済むため負担が少なく、筆画数も比較的多くはない(11画)。
4. tro / 太 /
   * 選定理由: 中国語では「太」は「過度に〜すぎる」という意味を表すうえで最も典型的。日本語でも「太い」「太陽」で見覚えがあり、「あまりに」「とても」を連想しやすい。
   * 学習コスト: 画数が少なく非常に基本的な字なので負担が小さい。
5. eksces / 太多 /
   * 選定理由: 「太～」＋「多」で「過多／過剰に多い」というニュアンスを直接表せる。中国語でも「太多」は「多すぎる」の意味。
   * 学習コスト: 「太」は既出・「多」は6画で比較的簡単。重複利用により負担も軽減。
6. ekstrem / 极 /
   * 選定理由: 中国語の「极」は「極端」「極度」の意で使われる。日本語では旧字「極」とほぼ同義と想像しやすい。
   * 学習コスト: 1文字で意味が明確。比較的画数も少なめ(7画)。
7. tre / 很 /
   * 選定理由: 現代中国語で「とても」を表す最頻出語の一つ。日本語話者にはやや馴染みが薄いが、学習価値は高い。
   * 学習コスト: 単字(9画)で使用頻度が非常に高いため、中国語として覚えてしまえば応用範囲も広い。
8. ampleks / 大小 /
   * 選定理由: 直訳すると「大きい・小さい」で「物の大きさ・範囲」を連想できる。日中双方で「サイズ」を示すときにも分かりやすい。
   * 学習コスト: いずれも3画で非常に基本的な漢字。同時に「大」「小」を習得できるため汎用性が高い。
9. larĝ / 宽 /

* 選定理由: 簡体字「宽」は「幅が広い」の意を最も直接的に示す字。日本語の「寛(寬)」にあたるので意味連想も容易。
* 学習コスト: 10画だが、中国語簡体では標準的で広く使われるため優先。

1. vast / 广 /

* 選定理由: 簡体字の「广」は「広大」「広範」の語に用いられ、「幅広い」「広い」ニュアンスを表しやすい。
* 学習コスト: 3画で極めて少ない。日本語の「広」に対応する簡体字なので想像はつきやすい。

1. grand / 大 /

* 選定理由: 「大」は言わずと知れた「大きい」の漢字。
* 学習コスト: 既出で3画とシンプル。日中いずれも最も基本的な漢字の一つ。

1. eg / 大 /

* 選定理由: エスペラントの「-eg-」は「大きい・強い・程度が強い」を示す接尾辞なので、「大」を転用して強調詞として使う想定。
* 学習コスト: 同じ「大」を再利用し、上付き文字等で区別予定。新規漢字導入不要で低コスト。

1. kolos / 巨 /

* 選定理由: 「巨」は「巨大」「巨額」などに使われ、中国語・日本語双方で「非常に大きい」というイメージを持つ単字。
* 学習コスト: 5画と比較的少なく、シンプルに「超大型」のニュアンスを伝えられる。

1. gigant / 巨人 /

* 選定理由: 「巨人」は日中どちらでも「巨大な人・巨人」の意味でほぼ共通理解できる。
* 学習コスト: 「巨」は既出、「人」は2画で基本的な漢字。組み合わせも馴染み深い。

1. tim / 恐 /

* 選定理由: 「恐」は日中で「こわい・恐れる」感情を表す代表的な字。
* 学習コスト: 10画だが、日本語にも「恐れる」「恐ろしい」として馴染みが深い。

1. terur / 恐怖 /

* 選定理由: 「恐怖」は「恐ろしい・怖い」という強い恐怖感を端的に示す語。日中ともに意味が一致。
* 学習コスト: 「恐」は既出、新たに「怖」(8画)を加えるのみ。ホラー表現などでも汎用性が高い。

1. minac / 恐吓 /

* 選定理由: 「恐吓」は「脅す、脅迫する」の意味で、中国語でも標準的な表現。日本語でも「恐喝」「恐怖」と同系列でイメージを掴みやすい。
* 学習コスト: 「恐」は既出、新規は「吓」(6画)のみ。脅迫・威嚇系表現で転用可能。

1. kompromit / 危及 /

* 選定理由: 「危及」は「(相手・状況を)危険にさらす」「波及して危険を及ぼす」という意味で用いられる。エスペラントの「compromise, endanger」のニュアンスに合致。
* 学習コスト: 「危」は後述の「危险」で再利用、「及」は2画と少なく抑えられる。

1. risk / 风险 /

* 選定理由: 中国語では「风险」が「リスク・危険性」の最も標準的な表現。
* 学習コスト: 「风」(4画)と「险」(10画)で2文字だが、後述「危险」との共通字「险」もあり学習コストを圧縮。

1. danĝer / 危险 /

* 選定理由: 日中ともに「危险(危險/危険)」は「危険・あぶない」という意味。エスペラントの「danĝer」に対応するのに最適。
* 学習コスト: 「危」は既出、「险」は「风险」と共通で重複利用できる。

1. mizer / 惨 /

* 選定理由: 「惨」は「悲惨」「凄惨」など「非常に苦しく悲しい」状態を示す単字。日中で「みじめ」「無惨」などの意味合いが共通しやすい。
* 学習コスト: 単字(11画)だが一度覚えれば、「惨痛」「惨状」など応用が利き、イメージしやすい。

tragik

* + 提案: 惨
  + 理由: 「惨(惨状・惨痛など)」は「悲惨な」「ひどく悲しい」といったニュアンスを端的に示す簡体字。
  + 学習コスト: 偏旁「忄(心の簡体)」は他にもよく使われるため再利用しやすい。

1. tragedi
   * 提案: 惨剧
   * 理由: 「惨剧」は「悲惨な事件・悲劇的な出来事」という意味で中国語において非常に一般的。「悲剧」とする案もあるが、「惨」を先に導入しているため「惨+剧」の組合せを選択。
   * 学習コスト: すでに「惨」を導入済み。新出の「剧」は後述の「喜剧(コメディ)」でも使うため汎用性が高い。
2. plag
   * 提案: 灾
   * 理由: 「灾(灾害)」は「災い」「天災」「災難」を表す非常に基本的な簡体字。日本語の「災(災害)」に対応。
   * 学習コスト: 画数が少なく(わずか7画)、他の災害関連語(灾难等)にも転用しやすい。
3. katastrof
   * 提案: 灾难
   * 理由: 「灾难」は「大災害」「大きな災難・惨事」の意味で中国語ではごく一般的。
   * 学習コスト: 「灾」は既出。新出の「难」は「困難」「難」の意味でも使われる常用字なので汎用度が高い。
4. mir
   * 提案: 奇
   * 理由: 「奇」は「不思議」「奇妙」「素晴らしい」など広く“驚き・不思議”を表せる漢字。
   * 学習コスト: 画数8画で比較的シンプル。今後「奇迹(奇跡)」「惊奇(驚奇)」などとも組み合わせ可能。
5. surpriz
   * 提案: 惊
   * 理由: 「惊(驚の簡体)」は「驚く」「驚かせる」という意味の代表的な簡体字。
   * 学習コスト: 「忄」偏旁を含み、既出の「惨」「惰」などと同じ“心”つながり。日中双方で認知しやすい。
6. mirakl
   * 提案: 奇迹
   * 理由: 「奇迹」は「奇跡」を表す最も標準的な中国語。
   * 学習コスト: 「奇」は既出。新出の「迹」(「足跡」「事跡」など)も常用字であり、ほかの語にも応用可能。
7. mir/ind##
   * 提案: 惊奇
   * 理由: 「惊奇」は「驚き・不思議さ」「驚嘆すべき様子」を表す熟語。日本語の「不思議」ニュアンスにも比較的近い。
   * 学習コスト: 「惊」「奇」はともに既出文字の組み合わせ。追加学習不要で割り当て可能。
8. strang
   * 提案: 怪
   * 理由: 単独で「奇怪」「怪しい」「変だ」という意味を持つ常用字。「奇怪」の一部でもあるが、一文字のみでも「奇妙・怪異」的なニュアンスは伝わりやすい。
   * 学習コスト: 画数8画程度で比較的シンプル。
9. kurioz

* 提案: 怪
* 理由: 「珍奇な」「珍しい」「奇妙な」といったニュアンスを、中国語では「怪」や「奇怪」「稀奇」などで表現可能。ここでは学習コスト低減を優先し、strangと同一字「怪」を再利用。
* 学習コスト: 既出の「怪」と同一文字再利用で学習負荷ゼロ。

1. bagatel

* 提案: 小事
* 理由: 「つまらない事」「些細なこと」は中国語で「小事」が最もわかりやすい。「琐事(瑣事)」もあるが画数が多めの「琐」を避けて簡易表現に。
* 学習コスト: 「小」(3画)と「事」(8画)はいずれも頻用字で汎用性が高い。

1. inert

* 提案: 惰
* 理由: 「惰」は「怠惰」「惰性」の語でも使われるように「惰性的」「動きが鈍い」を表す。
* 学習コスト: 偏旁「忄」は既出(惨・惊など)なので学習コストやや低め。

1. indiferent

* 提案: 冷淡
* 理由: 「冷淡」は「無関心で冷ややか」「淡々としていて興味がない」という意味で“indifferent”に最適。
* 学習コスト: 「冷」(冫+令)7画、「淡」(氵+炎)11画。ともに常用漢字で今後使い回しも可能。

1. apati

* 提案: 冷淡
* 理由: 「無感動」「無関心」「無気力」などは「冷淡」(冷ややか・関心がない)でも概ね表現可能。重複利用で学習負担を減らす。
* 学習コスト: すでに「冷淡」をindiferentで導入済み。

1. van

* 提案: 虚
* 理由: 中国語の「虚」は「空虚」「虚しい」「実体がない」といった意味を持ち、エスペラントの「むなしい」に相応。
* 学習コスト: 画数は11画だが、単字で「虚無」「虚ろ」など幅広い表現をカバー可能。

1. vant

* 提案: 虚荣
* 理由: 「虚荣」は「虚栄」「うわべだけの栄誉」「見栄っ張り」などを指す常用的な表現。
* 学習コスト: 「虚」は既出。新出の「荣」は「栄える」「繁栄」など多義で応用可能。

1. stult

* 提案: 呆
* 理由: 「呆」は「愚か」「ぼんやり」「まぬけ」といった意味合いが強く、口語表現でも広く使われる。
* 学習コスト: 画数7画で比較的少なく、日本人にも「呆れる」の字として馴染みがある。

1. absurd

* 提案: 荒诞
* 理由: 「荒诞」は「荒唐無稽」「非常識」「ばかげている」といった意味を含み、“absurd”のニュアンスに近い。
* 学習コスト: 「荒」(9画)と「诞」(8画)はいずれも日常語彙(「荒地」「诞生」など)で応用先あり。

1. koket

* 提案: 媚
* 理由: 「媚」は「媚びる」「なまめかしい」「色気で誘惑する」などの含意があり、「コケットリー」「妖艶」の感覚を1字で表しやすい。
* 学習コスト: やや画数多め(12画)だが、日本語の「媚びる」に通じ、イメージ把握は容易。

1. komik

* 提案: 喜剧
* 理由: 中国語で「コメディ」「喜劇」は「喜剧」が最も直接的。tragédi(惨剧)と対比的にもわかりやすい。
* 学習コスト: 「剧」は既出(惨剧)。新出の「喜」(12画)は「喜欢(好き)」「喜事(祝い事)」などでも頻用。

1. cinik

* 提案: 犬儒
* 理由: 中国語で「犬儒」は「シニカル」「犬儒派(シニック)」を指すやや専門的表現だが、最短かつ分かりやすい対応語。
* 学習コスト: 2文字とも常見の基本要素(「犬」「儒(儒学)」)で意味も類推しやすい。

1. ironi

* 提案: 讽刺
* 理由: 「讽刺」は「皮肉」「アイロニー」「風刺」を広くカバーする代表的な中国語表現。
* 学習コスト: 「讽」(讠+风)6画＋「刺」8画 = 計14画。どちらもよく使われる漢字(「讽」=風刺,「刺」=刺す/風刺)で汎用性は高い。

frenez / 狂 /

* + 選定理由: 「狂」は「狂う」(日)、「疯狂」「狂热」など(中)の語で広く用いられ、「気が狂った・狂気・発狂」などの意味が連想しやすい。
  + 学習コスト: 画数は比較的少(7画)。日本語にも同形の「狂」があり、両言語の学習者にとって理解しやすい。

1. delir / 乱 /
   * 選定理由: 「乱」は「乱れる」(日)、「混乱」「错乱」(中)など“混乱・錯乱”を表す字として広く使われるため、「delir(錯乱する)」に近いニュアンスを想起しやすい。
   * 学習コスト: 7画と少なめ。日中双方で非常に頻出の漢字であり、学習優先度が高い。
2. avar / 贪 /
   * 選定理由: 「贪」(貪)は「貪欲」「贪婪」など、“欲深い・欲張り”を直接表す代表的な字。
   * 学習コスト: 8画。日本語では常用ではないが「貪」で同義が通じるため、対応関係を把握しやすい。
3. ruz / 狡 /
   * 選定理由: 「狡」は「狡い(ずるい)」(日)、「狡猾(狡猾)」(中)のように“ずるい・ずる賢い”のニュアンスを表しやすい。
   * 学習コスト: 9画ほどだが、日中ともに“狡猾”の印象で覚えやすい。必要に応じて「狡猾」「狡诈」などの熟語連想も可能。
4. rapid / 快 /
   * 選定理由: 「快」は“速い・素早い”を意味するほか、“気持ちよい”の意味もあるが、「快速」「快车」(中)など“速い”の語で広く使われる。
   * 学習コスト: 7画。日本語にも「快速電車」「快適」などの形で馴染みがあり、連想しやすい。
5. fru / 早 /
   * 選定理由: 「早」は“早い・朝早い”などの意味を日中ともに共有。
   * 学習コスト: 6画と少なめ。非常に基本的な漢字。
6. tuj / 即 /
   * 選定理由: 「即」は“即座に・すぐに”を表す代表的な字(「即刻」「即便」など)。
   * 学習コスト: 7画。日本語にも「即席」「即時」などがあり、理解しやすい。
7. baldaŭ / 不久 /
   * 選定理由: 「不久」は“まもなく・近々”を表す簡明な熟語(直訳で「長くない(時間)うちに」→“まもなく”)。
   * 学習コスト:
     + 「不」(4画)は日中問わず極めて頻度が高く、他語でも繰り返し使いやすい。
     + 「久」(3画)も日常的な語彙(“久しい”、“很久”)で比較的覚えやすい。
8. hodiaŭ / 今天 /
   * 選定理由: 中国語で「今天」は“今日”の標準的な表現。日本語学習者も「今」「天(空・日)」を知ればイメージしやすい。
   * 学習コスト:
     + 「今」は4画、「天」も4画で計8画と比較的少ない。
     + 「今」は既出の「nun(今)」とも関連づけられる。
9. aktual / 现 /

* 選定理由: 「现」は“現在の”“実際の”を意味する最も直接的な簡体字(旧字は「現」)。
* 学習コスト: 8画。日中で意味の対応も取りやすく「現実」「現代」など多数の熟語がある。

1. nun / 今 /

* 選定理由: “今”の意を表す最も基本的な字。日本語でも「今」、中国語でも「如今」「当今」などで用いられる。
* 学習コスト: 4画と少なく、初学者にもわかりやすい。

1. modern / 现代 /

* 選定理由: 「现代」は中国語で“現代・近代・モダン”の標準的な表現。
* 学習コスト:
  + 「现」(8画)は(10)で既出、
  + 「代」(5画)は“世代・時代”を表し、日中ともによく使われる。

1. mod / 时尚 /

* 選定理由: 「时尚」は“ファッション・流行”を直截に表す現代的な中国語。
* 学習コスト:
  + 「时」(7画)は“時間”の意でも頻繁に登場(旧字「時」)。
  + 「尚」(8画)は“高尚”“崇尚”などにも使われ、比較的汎用性がある。

1. popular / 流行 /

* 選定理由: 「流行」は“人気がある・広く行き渡る”という意味で日中ともに非常に通じやすい。
* 学習コスト:
  + 「流」(10画)は他にも“流れる、流動、交流”など派生が多い。
  + 「行」(6画)は極めて頻出(“行く”“行列”“行业”)。

1. publik / 公众 /

* 選定理由: 「公众」は“中国語での一般大衆・公衆”にあたる常用表現。
* 学習コスト:
  + 「公」(4画)は“公の、公平、公有”などでよく見かける。
  + 「众」(4画)は“人々、大衆”を示すシンプルな字。

1. vulgar / 俗 /

* 選定理由: 「俗」は“通俗的・世俗的・卑俗”などを単字で表しやすい。日本語でも「俗語」「風俗」等で使われる。
* 学習コスト: 9画程度で、派生語も多く理解しやすい。

1. komun / 共 /

* 選定理由: 「共」は“共に・共同・共有”を示す漢字で、「共同」「公共」等に広く使われる。
* 学習コスト: 6画。“みんなで分かち合う”イメージが日中ともに理解されやすい。

1. ĝeneral / 总 /

* 選定理由: 「总」(旧字「總」)は“総合・全体・一般的”の意で、現代中国語では「总是」「总而言之」など頻用。
* 学習コスト: 9画。日本語の「総(ソウ)」と同根で対応づけが容易。

1. universal / 普遍 /

* 選定理由: 「普遍」は“広く行き渡る、あまねく通用する”という意味合いを表す最も代表的な表現。
* 学習コスト:
  + 「普」(12画)「遍」(12画)は合計24画とやや多いが、中国語・日本語双方で「普及」「遍在」など派生的に理解しやすい。

1. bon / 好 /

* 選定理由: 「好」は“良い”を直接示すもっとも基本的な字。日中ともに用例が膨大。
* 学習コスト: 6画。初学者が最初期に覚える漢字の一つ。

1. eminent / 优 /

* 選定理由: 「优」(旧字「優」)は“優れている・優秀である”を示す代表的な簡体字。
* 学習コスト: 6画で短め。日本語の「優」とほぼ同義なので対応関係がつかみやすい。

1. skrupul / 细心 /

* 選定理由: 「细心」は“注意深い、細心である”を直接言い表す熟語で、scrupulous や conscientious に近い意味合い。
* 学習コスト:
  + 「细」(8画)は“細い・綿密”、
  + 「心」(4画)は“心・気持ち”で極めて頻出。ともに他語への応用範囲も広い。

preciz / 准 /

* + 選定理由: 「正確」「準確」「精准」などに含まれる「准」を用い、“正確さ・精度”のニュアンスを表せると判断しました。日本語の「準備」の「準」と同形であり、ある程度意味も連想しやすいかと思います。
  + 学習コスト: 本リストでも他の語根(ekzakt, prepar など)で「准」を再利用できるため、新たな漢字を増やさずに済みます。

1. ekzakt / 准 /
   * 選定理由: preciz とほぼ同義（厳密・正確）であるため、同じ「准」にまとめてしまい、区別は上付き文字などで行う案です。「精密」などのイメージにも近い「准確」などの用例が中国語にあるため、整合性は比較的とりやすいです。
   * 学習コスト: preciz と同一の文字にすることで、学習すべき漢字総数を抑制。
2. cert / 确 /
   * 選定理由: 中国語で「确实(確実)」「确定(確定)」など「確か・確実」を意味する場面で用いられる字です。日本語の「確か」に相当するイメージを比較的つかみやすいでしょう。
   * 学習コスト: 画数は9画ですが、意味が直感しやすく汎用性が高いので妥当と判断しました。
3. konkret / 实 /
   * 選定理由: 「実際」「実体」「实际(実際)」など、「具体的・実質的・現実的」なニュアンスを持つ「実」の簡体字です。日本語の「実」に通じる部分があり、「具」よりも「具体的・実在的」な印象を強く出せます。
   * 学習コスト: 画数は8画ですが、「实践(実践)」「实验(実験)」など、今後も頻出する「实」と組み合わせる形で再利用されるため有用です。
4. spert / 熟 /
   * 選定理由: 中国語でも「熟練(熟练)」「熟悉」などの形で「慣れた・経験豊富な」意味を表します。日本語の「熟練」「成熟」に通じるため、両言語話者が把握しやすいです。
   * 学習コスト: 多少画数(11画)はありますが、1文字で「経験を積んだ」イメージを十分に担保できる便利な文字です。
5. praktik / 实践 /
   * 選定理由: 「実践」をそのまま簡体字化した「实践」が最も直裁的で分かりやすいです。「践」単独より、「实践」の方が日本語・中国語ともに意味を誤解なく伝えやすいと考えました。
   * 学習コスト: 「实」はすでに konkret などで使用しているため重複活用できます。新規導入は「践」のみで済むメリットがあります。
6. eksperiment / 实验 /
   * 選定理由: 中国語で「実験」を指す標準的な表記が「实验」です。日本語の「実験」と類似するためイメージも取りやすいでしょう。
   * 学習コスト: 「实」は既出、ここで新しく加わるのは「验」のみ。画数はやや多めですが「検証」「試験」等の文脈でも使われるため、汎用性は低くありません。
7. pret / 备 /
   * 選定理由: 中国語で「准备(準備)」「设备(設備)」など、“用意が整った・備える”を含意する部首です。単独の「备」でも「備える・用意する」の意。
   * 学習コスト: 画数は8画。後述の prepar と合わせて使う「准备」でも再利用するため、重複利用可能です。
8. prepar / 准备 /
   * 選定理由: 中国語で「準備」を意味する標準表記。すでに preciz/ekzakt で出てきた「准」と、pret で出てきた「备」を組み合わせることで“用意する”という語感を正確に表せます。
   * 学習コスト: 「准」「备」は既出のため、新たに学習すべき要素はありません。
9. fin / 完 /

* 選定理由: 中国語でも「完成」「完毕」など、「終わる・仕上がる」感覚の語に広く用いられています。日本語の「完了」「完結」にも通じ、終局・終了をイメージしやすいです。
* 学習コスト: 画数7画と比較的少なく、かつ意味の連想もしやすい汎用漢字です。

1. ating / 达 /

* 選定理由: 中国語「达到(到達・達成)」「到达(到着)」など、目的地に「到達する／達成する」イメージを表す代表的な簡体字。
* 学習コスト: 画数6画と少なく、「成」など他の「達成」を表す文字よりも到着・到達のニュアンスが明確。

1. far / 作 /

* 選定理由: 中国語では「做」が一般的な「する・行う」の表記ですが、日本語で「作る」「作品」などの「作」と通じ、かつ画数が「做」より少ないためこちらを優先しました。
* 学習コスト: 7画と中程度ながら、「作業」「工作」など多用途で使われるため汎用性が高いです。

1. plen/um / 成 /

* 選定理由: 中国語・日本語ともに「成」は「なる／成就／完成」の要素があり、「満たす・果たす・完遂する」ニュアンスを比較的簡潔に表現できます。
* 学習コスト: 6画で比較的シンプル。同義語「完成」とも関連しやすいため、覚えやすいです。

1. nov / 新 /

* 選定理由: 「新しい」は日中ともに「新」で対応するのが最も標準的。
* 学習コスト: 画数13画ですが、日本語においても頻出するため認識されやすいでしょう。

1. freŝ / 新鲜 /

* 選定理由: 中国語で「新鲜」は“新しく鮮度が高い”を意味し、まさに「新鮮」と一致します。単独「鲜」よりも「新鲜」の方が“フレッシュ”感を直接伝えやすいです。
* 学習コスト: 「新」は既出なので、新たに導入されるのは「鲜」のみです。

1. nur / 仅 /

* 選定理由: 「仅仅(仅＝僅)」は「ただ〜だけ・わずかに」というニュアンス。日本語の「僅か」に近く、中国語でも「わずかに」「単に」を示す際の定番表現です。
* 学習コスト: 4画と非常にシンプルで、「只」などと同様に「only」を表しやすい文字。

1. ĵus / 刚 /

* 選定理由: 「刚才(たった今)」のように、“ちょうど今この瞬間”を指す際に使われる簡体字。日本語の「剛(つよい)」と意味が違う面はありますが、中国語圏では「たった今」を示す代表格です。
* 学習コスト: 7画。比較的一般的な字であり、ほかの用途でも目にする機会は少なくありません。

1. subit / 突 /

* 選定理由: 「突然」の「突」。日本語でも「突発」「突出」など、急に現れる・不意に起こるニュアンスを共有でき、分かりやすいです。
* 学習コスト: 8画。19番の abrupt と同様なので、この1文字で「突然・不意」の意味合いをまとめられます。

1. abrupt / 突 /

* 選定理由: subit とほぼ同義で、突然・急激な様子に用います。同じ「突」で統一し、上付き文字などで区別可能にします。
* 学習コスト: すでに subit で使用した「突」を再利用するため、新規学習は不要。

1. provizor / 暂 /

* 選定理由: 中国語「暂时(暫時)」の「暂」で、一時的・臨時的という意味を端的に表せます。日本語の「暫定」などとも対応。
* 学習コスト: 9画ですが、ほかに類似の単字がなく、一文字で「仮・臨時」を十分示せるため採用。

1. moment / 时 /

* 選定理由: 厳密には「時」というやや広い概念ですが、「一瞬」や「時の一点」を示す時にも「时刻」「此时」など応用的に使えます。シンプルかつ頻用文字なので選択しました。
* 学習コスト: 7画。「時間」「時刻」など、他の関連語にも再利用しやすく、有用度が高いです。

1. konstant / 恒 /

* 選定理由: 中国語・日本語ともに「恒常」「恒心」など、“変わらない・ずっと続く”イメージがはっきり伝わる字です。
* 学習コスト: 9画。常用度はそこそこ高く、「常」(11画)より画数が少ない点で有利と判断。